

高等学校用「オーラル・コミュニケーションA」 教科書における依頼表現の特徴

—— 談話分析の視点から ——*)

北海学園大学 教授 (人文学部)	岡 野 哲
北海道薬科大学 教授	吉 田 翠
北星学園大学 助教授 (社会福祉学部)	早 坂 慶 子
札幌大学 助教授 (経営学部)	尾 田 智 彦
小樽商科大学 助教授 (言語センター)	小 林 敏 彦

序：論点について

本稿は二重の目標を達しようとするものである。目標の第一は、談話分析の実践的過程を示すことであり、その第二は、談話分析の方法を、わが国における外国語としての英語教育に関連づけて、何等かの意義を見いだすことである。

第一の目標は、本稿における論述全体によって達せられるものと信ずるが、第二の目標に関しては、外国語教育の多面性を考慮すれば、分析の対象を限定せざるを得ないのは言を俟たない。我々は教科書そのものを、ある意味で、談話の現実体、すなわちテキストと見なすべきであると考えるのであるが、本稿は、そのような意味でのテキスト全体を対象とするものではない。なぜならば、教科書は、教材として、教材論の視点からの分析を必要とし、それは、明らかに教育学全体の枠組みの中に位置づけて行われるべき分析だからである。

さて、一般に理解されているところ、英語の教科書は、読解力の養成・文法の理解・文章表現力の養成を主眼として、それに、種々の補足的要素——練習問題・語彙・発音の表示など——が付け加えられている。本稿の対象とする高等学校用オーラル・コミュニケーションAの教科書においても同様である。従って、この科目の達成しようとする目標に照らして、主眼となるべき素材と補足的要素とを弁別することが可能である。我々は必ずしも補足的要素の重要度が低いとは考えないないのであるが、全体を通して主眼をどのようにして提示するか、教科書それぞれの特徴が現れることが認められる。本稿の対象としては、その意味における中心的な部分に焦点を当てて、分析を試みるものである。

ここで、本題に立ち入るに先だって、「オーラル・コミュニケーションA」という科目について、若干の付言が必要であろう。

文部省は昭和62年教育課程審議会答申を受けて、外国語(英語)についても学習指導要領の改訂を行った。この答申は「国際化の進展に対応した、国際社会で生きるために必要な資質を養い、コミュニケーション能力を養成し、国際理解の基礎を培う」必要を強調するものであった。これを受けた高等学校改訂指導要領(1994年度より学年進行をもって実施)¹⁾によって、「オーラル・コミュニケーションA/B/C」の三科目が新たに設けられた。これらは、高等学校の課程において、話し言葉としての英語によるコミュニケーション能力の育成を第一の目標として掲げるものである。これら、三科目は、A/B/Cの順に、それぞれ「自分の考えや感情を表現する能力」の養成、「聴解能力」の養成、「整理・発表・話し合いの能力」の養成が、その目標である。そして、高等学校の生徒は、これら三科目の少なくともどれか一科目を履修することが要請されることになった。この様に、言語運用の能力を三分野に分ける科目編成は、既に、中学校の指導要領において「話すこと」と「聞くこと」の領域を独立した二つの領域として指導することにより、話し言葉としての英語コミュニケーション能力の向上の実現を図ろうとした方針を受け継いだものである。

この様な指導要領の方針に従って、オーラル・コミュニケーションA [以下、OCAと略称]の教科書が編纂され、文部省の検定を経て、一般に利用されることになった。我々が検討の対象としたものは、それらのすべてで、19種類²⁾にのぼる。これらは3~14名の編著者によるもので、一種類を除き、母語話者が編著者に加わっているのが普通である。母語話者が校閲にのみ携わっている例が一種類あるが、最大3名の母語話者が参加している。それぞれのレッスンの数は、最大35課、最も少ないもので12課である。この最少のレッスン数は、レッスンに匹敵する補助的な教材が加えられているので、実質はこれより多い筈である。これを除いて最も少ないレッスン数は15課である。また、これらのレッスンをユニットまたはパーツにまとめている教科書が約半数(11種類)である。

レッスンまたはユニットの組立方に、編著者の方針が現れている。言語表現の形式、言語表現機能、言語使用の場面の三つの観点のどれにより多くの注意が払われているかをみると、使用場面(シチュエーション)によるレッスンの組立てが過半数(12種)である。もちろん、それぞれの場面での言語機能——例えば、挨拶・忠告・指図など——が含まれ、それらが英語でどのように表現されるかに及ぶのであるが、OCA教科書の編集者がより具体的な言語行為をイメージしているという傾向を認めてよいのかもしれない。

それぞれのレッスンあるいはユニットの組立ては、ダイアログを基本として、様々な練習課題が与えられているのが普通である。どのような練習上の課題が付随していても、基本ダイアログ抜きにレッスンが組み立てられていることはない。つまり、ダイアログが教材の中心で、最低の必修内容なのであり、それを基本として、練習課題を通じてより多くの表現形式を身につけさせる、あるいは、聴解力を増強させる、実用的な語彙を増やす工夫を加える、などの多様な編集上の努力がなされている。

このようにして、我々は、19種類のOCA教科書の全てのレッスンのダイアログ部³⁾について、談話分析的観点から考察を加えることにした。このような視点とは、具体的な例として言えば、次のような事項になるであろう：1) 発話を言い切っているか (incompleteness of sentences), 2) ダイアログにおける話者の交替 (turn-taking), 3) 繰り返し (structural repetition), 4) 発話の語数 (quantity of utterances), 5) 談話の標識や注意喚起の信号 (discourse marker & attention signals⁴⁾), 6) 文体の適切さ (formal or casual style), 7) ジャンルによるテキストの型 (generic text patterns), 8) 隣接ペア (adjacency pairs) の生起, 9) その他⁵⁾。これらの全てについて検討をすすめてきたのであるが、本稿においては、主として「文体の適切さ」ないしは「自然度」(authenticity)⁶⁾を依頼表現 (speech function of request) との関連において考察し、その結果を論じることとする。

I. 分析の方法

本稿において「依頼」というのは、表現の形式を問わず、機能——すなわち、言語行為理論上、いわゆる、発語媒介行為としての行動を聞き手から引き出すような機能⁷⁾、そのような発語内の力をもつものと緩やかに解釈した言語機能 (speech function) についていうのである。このような意味で話し手が相手に対して行う依頼行為としての言語表現が対象である。もちろん、对人的に依頼を行う行為は、言語以外の手段によるものも当然あり得る。また、言語行為としても、文書による依頼もあるが、これは時間的な直接性に欠ける。本稿における「依頼」というのは、話し手と聞き手が同じ時間的・空間的場にあつて、直接に話しかけ、聞くという行為を通じて、話し手が聞き手からの行為による反応を喚起するものである。要するに、聞き手が話し手の言語行為によって行動を直接的に起こすかどうかを区別の基準とする。例えば、

(1-1) Just call me Jennie. (1)⁸⁾

(1-2) Could you tell me the way to the City Hotel? (209)

(1-3) Tomoko, you stand to the right of Yuji. (7)

(1-4) I'd like some flowers. (61)

(1-5) Hello, may I speak to Pat, please? (66)

(1-6) Please pass the soy sauce. (28)

のような例文において、(1-6)では、発話に対して、同席している人が何も言わないで、醤油の容器を手渡すだけであっても、問題がない場合があり、直ちに醤油の瓶を手渡す行為が第一義的に求められている。同じ事は(1-3)の場合も同様であろう。いろいろな場面が考えられるが、大勢で集合写真を撮影する場合の位置の取り方が問題であれば、トモコはユウジの隣へ移動するだけでよいのである。

しかし、(1-2)においては、直ちに求められているのは言葉による指示という言語行為である。道案内という言語的反応は、発語媒介行為であるから、言語行為が聞き手の直接的・第一義的

反応としての行動である。同様に、(1-1)においても、初対面の堅苦しさを解きほぐすために、名前の親しみのこもった呼び方を要求しているので、聞き手が「ジェニー」と呼びかけるという言語行為が直接的第一義的な反応でなければならない。この様に、単なる動作という意味での行動がなくても、言葉による指示や呼び掛けを行動と見なして、これらを依頼表現の考察の資料に加えることにする。

(1-4)および(1-5)においては、何等かの言葉による反応が伴う場合が多いが、買物の場面で「花を下さい。」と発話するならば、第一義的に求められている聞き手の反応は、肯定的には、花を売ることである。また、(1-5)のように電話をかけているとすれば、本人であれば言語的な反応を示すことが重要であり、もし、電話の受け手が本人でなければ、本人を呼び出すための行為が要求される反応である。これらの場合、言葉による反応を考慮することが普通であるが、この反応の直接性にむしろ着目すべきであろう。

この様にして、依頼表現は、言語形式に拘らず、話し手が聞き手の行動による反応を求めるものとして、容易に判定が可能な場面の脈絡において見いだすことができる。

次に考察の視点としては、受益関係および対人関係⁹⁾が依頼の言語表現とどのように関わっているかに着目した。

依頼者と被依頼者の対人関係については、4つのカテゴリーを設定した。すなわち：

- 1) 対等関係：学生とか友人同士など（例：Emi, let me see your notebook, please.）；
- 2) 上下関係-a)：下位の依頼者の発話、子供の親に対する依頼、店員の顧客に対する依頼、学生の教師に対する依頼など（例：Can we go, mom?）；
- 3) 上下関係-b)：上位の依頼者の発話、教師の生徒に対する依頼、顧客の店員に対する依頼、親の子に対する依頼など（例：Get up, Toshiko!）
- 4) 関係不明：上位・下位の関係が不明であるか、関連が無いと考えられる場合、例えば、全く未知の他人に対する依頼、電話をかけるとき誰であるか不明の相手に対する依頼など（例：Excuse me, where's the nearest telephone booth?）

この関係の分類については、教科書の編集方針によっては、容易に判別がつくものと、比較的困難なものがあった。ダイアログそのものが、話し手・聞き手の関係を明示している場合は判別が容易な場合である。逆に、話し手・聞き手が単に記号（例えば、A；Bのような）で示されている場合は、各レッスンの練習問題、その他の説明部分、イラストレーションなどから判断するのが普通である。前述のように、教科書全体がシチュエーション中心に編集されているものが多いからである。

受益関係¹⁰⁾については、対人関係の如何を問わず、a) 依頼が依頼者に直接的な利益をもたらすか、逆に、b) 依頼が被依頼者に直接的に利益をもたらすかによって区別が可能である。例えば、

- a) Watch your step.

b) Could I ask a favor of you, Professor?

において、《A) 依頼者<被依頼者> ; B) 依頼者>被依頼者》のように、不等号を用いて定式化できるような、比較的単純な関係として捉える。資料全体を通じて、この判断が困難な場面は殆ど無かったと言える。

本題である「依頼表現」における「文体の適切さ」を考察するには、言うまでもなく、表現の多様な形式を整理しておく必要がある。依頼という言語行為の主体は、発話がどのような形式を取ろうと、言語的にその主体¹¹⁾が表現に顕在化しているようが、表現されずに終わっているようが、依頼者として必ず存在する筈である。しかし、そのことを念頭に置きながらも、やはり、表現の形式上の適切さを考察するには、センテンスの形式を整理しておくという準備作業が必要である。

そこで、我々は、センテンスが節(clause)の形式をとるか、節形式と無関係な、いわゆる、「無定形文」(amorphous sentence)¹²⁾であるかを、まず、区別しなければならない。次の例文によれば：

c) A return to Victoria, please. (153)

d) Just a moment, please. (38)

e) Hurry up, Yoko! (244)

c) は、鉄道などの駅で切符を買うときの定形的表現であり、これを節形式に置き換えることはできない。d) は、節形式に還元することが可能であるが、その様な変換が「文体の適切さ」に及ぼす影響は無視できない。これは、頭部省略¹³⁾と考えることもできるが、節形式とは関係づけられないこととした。これに類する用例は、資料の中に少なからず存在する。e) は、これに対して、節形式をなすものと捉えるべきである。センテンスの意味上の分類から、文法的に位置づけられたセンテンスのタイプであるから、無定形文と同列に扱う事は、本来的には正しくない。しかしながら、本稿においては、以上、三つの場合、文法上の主語が欠如しているという観点から、同列に扱うことにした。すなわち、無定形文・頭部省略・命令文(ただし肯定形のみ、その理由については以下を参照されたい)は同列の類をなすことにした。

他の依頼表現の発話は、節形式、すなわち、主語(subject)と述部(predicate)の結合をなす類である。主語は名詞句(noun phrase)で、構造的に単純である。述部の構造は「操作子」(operator)と「叙述部」(predication)¹⁴⁾からなる。依頼表現に関連して重要なのは、主語と操作子の語順である。いわゆる、意味によるセンテンスの分類は、伝統的には、この語順によって決定されてきた。次例：

f) I'm looking for a blue jacket. (102)

g) I prefer a brighter color. (265)

h) So, could I come, too, Yumi? (251)

i) Don't call me Mr. Hara. (243)

をみると、f) と g) は、肯定平叙文(declarative)、h) は疑問文(interrogative)、i) 否定

命令文 (imperative) であるが、一般に、このセンテンスの意味上の分類は、対人関係を表示すると考えられる。すなわち、疑問文は質問 (question) であり、相手から言葉による反応を引き出すという機能を特色とするとされ、命令文は要請 (request) で、相手から行動による反応を引き出す機能を特色とされると言われる。疑問文も命令文も要請としては同じであるが、相手に求める反応が言語的であるか行動的であるかの違いがあるだけだというように単純化して説明される。これは、あくまでも文法分野での議論である。

しかし、文法においても、質問や要請という事を云々する以上、そこには話し手と聞き手の間に、何等かの対人関係 (interpersonal relationship) を認めているのだという判断が成り立つであろう。従って、文法的に形式上の区別が可能な限りにおいて対人関係を考慮するならば、対人関係の区別に対応する形式は、上の例文にみるとおり、主語と操作子の語順によると言うことになる。すなわち、

- f') 主語 (I) + 操作子 ('m)
- g') 主語 (I) + 操作子 (0)¹⁵⁾
- h') 操作子 (Could) + 主語 (I)
- i') 主語 (0) + 操作子 (Don't)

従って、本稿においては、節形式のセンテンスに関しては、f' ~ i') に認められる結合の様態を対人関係表現の中心部分とみなす事にする。

これに対して、いわゆる叙述部は、内容によっては依頼表現と密接な関係を持つけれども、必ずしも関係があるとは限らない。

- j) Will you *help me with my Japanese?* (49)
- k) Sir, may we *go back into the station?* (228)

のような例文を比較してみれば明らかなように、j) の叙述部は依頼表現と関係が深いけれども、k) の叙述部は、殆ど、無関係であると言える。従って、叙述部の内容をもって節形式の依頼表現の中核的な要素と見なすことはできない。

この様にして、節形式の発話に関しては、《主語+操作子》の要素を「中核部」(Nucleus) と見なし¹⁶⁾、それに続いて生起する叙述部を「中核部継続要素」(Post-Nucleus) として、従属的な位置を与える事にする。

以上は、節形式の発話に限られる配慮であるが、依頼の発話の殆どすべてに当てはまる残余の要素を考慮しなければならない。節形式に関して言えば、叙述部の中の疑問詞は、文法上の規則に従って中核部の前に生起する。また、節形式に限らないが、呼掛け (vocative) や注意を喚起するための合図や談話の標識 (discourse marker)¹⁷⁾、同様に、遊離要素である儀礼的従接詞 (courtesy subjunct)¹⁸⁾ やイディオマティックな表現形式が、中核部に先行し得る。従って、これらは「中核部先行要素」(Pre-Nucleus) として認めなければならない。

同様に、中核部継続要素では完結せずに、呼掛けや儀礼的従接詞が最後に付加されること

がしばしば見いだされる。これらは、「終結部」(Finish)として別に考えざるを得ない。

この様にして、節形式における依頼の発話を、構成要素の観点からみると、次のように定式化することが出来るだろう：

(Pre-Nucleus) + Nucleus [subject + operator / operator + subject]
(+ Post-Nucleus) (+ Finish)

ここにおいて、括弧の中の要素は義務的でない。すなわち、特別な文脈においては、中核部のみから依頼の発話が成り立っている場合も起こり得る：

1) A : You have a perfect right to get the permit just now.

B : *May I?*

A : Certainly. Here you are.

のような場合である。しかしながら、依頼表現の性質上、括弧内に示した随意的要素を含まないような表現は稀であろう。

また、さきに掲げた無定形文・頭部省略・命令文(ただし肯定形のみ)については、当然ながら、節形式における中核要素は欠如している。従って、節形式において随意的であると考えられた要素が重要な意味をもつ。例えば、

m) Aw, please, Mom. (141)

n) Pardon? (202)

o) Smile! (33)

これらを節形式の定形化にならって示せば：

Pre-Nucleus + Post-Nucleus + Finish

となるかも知れないが、このうち、どの要素が義務的か、随意的かを決めることはできない。

さて、これまで詳述した基準に基づいて、所定のOCA教科書19種類に現れた294例の依頼表現について定量的・定性的分析を行った。使用した計算ソフトはEXCEL97/98である。ダイアログのテキストを精査するに際しては、言語機能の観点を反れないよう、形式にとらわれて読み違いのないように、繰り返し細心の注意を払って共同作業にあたった。従って、294個の用例の依頼表現としての位置づけについては、確信をもって集計に当たることができた。

上掲の計算ソフトにより、それぞれの構成要素毎に分析したワークシートを作成した。ワークシートについては、付録別表によって、それぞれの機能単位が確認されている実態を参照されたい。すなわち、中核部先行要素、中核部(主語×操作子)、中核部継続要素、終結部にどのような表現形式が位置づけられているか、依頼の発話主体(addresser)および被依頼人(addressee)とそ

の間の対人関係 (1~4), 依頼の受益関係 (<;>) が示されている。

この原資料をソーティング¹⁹⁾することにより, 主眼とする項目について数量的知見を得ることができた。例えば, 中核部先行要素がない表現は, 0 によって連続的に読み取ることが可能である。依頼表現の多様性は, この原資料により明らかになるのであるが, それを対人関係および受益関係の視点からみて, どのように評価することができるか, すなわち, 「文体の適切さ」の視点から評価を試みることができ, しかも, その結果を数量的に明らかにすることにより, OCA 教科書ダイアログの適切さについての考察が可能になるか, 多大の関心をもって考察に当たった。

言うまでもなく, 日本国内の高等学校で使用するための, 日本人による日本人のための教材であることに留意して, 「文体の適切さ」にある程度の評価を下すために, 教科書以外の資料との比較を試みた。すなわち, インターネットで公開されている外国(アメリカ)映画の資料サイト(us.imdb.com/)²⁰⁾から, 資料の一部を検索し, 依頼表現の一部について対照的な様相が見いだせるか試みた。

II. 分析の結果およびその考察

以上の基準に基づいて, A. 表現の形式; B. 対人関係; C. 受益関係; D. 対人関係および受益関係と表現の形式; E. 表現上の自然さに関する考察を行った。

A. 表現形式について

1. 中核部 (NUCLEUS)

我々の基準によれば, 依頼表現の形式的側面として, 節形式をとるか否かの区別が立てられている。節形式をとらない表現の例を繰り返しあげれば:

- a) Aw, please, Mom. (141)
- b) Pardon? (202)
- c) Smile! (33)

の如きものである。すなわち, 節形式を中心に考えるならば, 主語と操作子が欠如しているような表現である。本稿における分析によれば, 主語=0ならびに操作子=0として, 中核部全体は《0/0》の構造として捉える事にした。このようにして, 該当の294例についてみると, 主語=0の形式は, 101例; 操作子=0の形式は, 104例; 中核部全体として《0/0》の形式は, 90例であった。(表1参照)

操作子として<don't>をとるが, 主語を欠くもの, すなわち《0/don't》の形をもつ否定の命令文は7例であった。しかし, 上掲の例文 c)のような肯定命令文は90例あり, 全体として命令文は97例であった。(表1参照)

主語についてのみ考察すると, 表1に示したように<I> 88例; <you> 81例; <we> 7例; <there> 3例; <その他> 14例であった。また, 操作子は——主語と語順倒置のあるものについ

表1

Grand Total					
Nucleus(S+Operator)		Nucleus 1st(Subject)		Nucleus 2nd(Operator)	
0/0	90	0	101	0	104
0/Don't	7	I	88	can?	36
I/0	8	you	81	could	2
I will	16	we	7	could?	35
I would	12	there	3	do?	11
Do you?	9			don't	7
Don't you?	5	other	14	don't?	5
Will you?	8			is	7
Can I?	19			is?	8
Can you?	14			may?	20
May I?	19			will	17
Would you?	12			will?	9
Could I?	9			would	13
Could you?	26			would?	12
other	40			other	0
total	294	total	294	total	294

ては<?>をつけて区別した — <can?> 36例；<could> 2例；<could?> 35例；<do?> 11例；<don't?> 5例；<is> 7例；<is?> 8例；<may?> 20例；<will> 17例；<will?> 9例；<would> 13例；<would?> 12例；<その他> 8例；(<don't> 7例：これは上述の否定命令文に含まれる)である。

以上について、主語と操作子の結合としての中核部で最も頻度の高いものから順に掲げると、<could you?> 26例；<may I?> 19例；<can I?> 19例；<I will> 16例；<can you?> 14例；<would you?> 12例；<I would> 12例；<could I?> 9例；<do you?> 9例；<will you?> 8例；<I / 0> 8例；<don't you?> 5例；<その他> 40例(ただし、否定命令文をつくる<don't> 7例は除く)である。

以上について、以下のような例文掲げることができる：

- d) *Could you just give us another minute or two?* (231)
- e) *May I see your ticket and passport?* (95)
- f) *Teruo, can I ask you something?* (56)
- g) *I'll take this one.* (53)
- h) *Can you tell me the way to Takeshita Dori Street?* (107)
- i) *Would you please tell her I called?* (30)
- j) *I'd like a ticket to Boston, please.* (283)

- k) *Could I* leave a message, Mrs.Hill? (80)
- l) *Do you mind* if I use your computer? (274)
- m) Beth, *will you* help me cut the vegetables? (249)
- n) *I want* a cheeseburger with ketchup and mustard. (184)
- o) Why *don't you* join us, Ted? (205)
- p) *Is it OK* to watch TV on this bed? (15)
- q) Please *don't step* on the moss. (34)

2. 中核部先行要素

中核部先行要素のうち、疑問詞のように文法上義務的に中核部に先行する要素がある。上掲の例 1-0) とともに、次の例文を参照されたい：

- a) *How* can I get to the city library? (48)

呼掛け(vocative)の例は、上掲 1-m) に認められるが、同様に、呼掛けの間投詞(interjection)が起り得るが、本稿の扱う資料の中では、頻度がきわめて低い：

- b) *Hey*, Mariko, look at these sweaters. (189)

注意を喚起する信号(attention signal)としては、〈Excuse me, (but)〉が、最も頻度が高い。〈Well〉, 〈But〉, 〈Now〉, 〈And〉などの談話の標識(discourse marker)は、頻度が低い。

- c) *Excuse me*, where is Nishi Station? (170)

- d) *Oh*, by the way, can you help me with that report tomorrow? (275)

従接詞(subjunct)²¹⁾の類は、当然ながら〈please〉の頻度が最も高い。〈yes〉, 〈OK〉なども生起する。また〈just〉は、用例が7個ある。

- e) *Also*, could you take him out for a walk every morning? (222)

合接詞(conjunct)²²⁾もきわめて稀である。上掲の例文 d) における〈by the way〉はこれに該当する。

- f) *So*, meet me at Don's place at two. (219)

- g) *First of all*, I'd like to have corn soup. (127)

離接詞(disjunct)²³⁾の例としては、

- h) *Maybe*, you can help us, too. (144)

その他、慣用的な表現として、敢えてこの範疇に属せしめた例をあげると：

- i) And ... well ... *I was wondering* if you could do one last thing for him. (223)

- j) *It'd really help me* if you could show me how to solve this. (237)

3. 中核部継続要素

中核部継続要素は、まさに、依頼の内容であり、メッセージの最も重要な部分である。従って、

シチュエーションによって、どの様にも変わり得る。例えば、食事のために外出しようとする場合と、電話で医者に診察時間の予約を取り付ける場合とでは、当然ながら、用いる言葉自体が変わらなければならない。したがって、これについて内容上の特別な分類を試みることは意味がないと考える。

しかしながら、この部分は、節形式の発話の場合には、文法上、叙述部 (predication) として取り扱われるべき要素である故に、文法的な類別をたてることが可能である。すなわち、1) 本動詞を先頭にたてる句をなす場合；2) 操作子が <be> (<have> も可能) で、述詞 (predicative) が名詞句である場合；3) 操作子が <be> で、述詞が形容詞句である場合、である。それぞれについて例をあげるだけで充分であろう：

- a) Could you *write it on the board*, please? (4)
- b) What is *your name*, please? (278)
- c) Just water is *fine*. (43)

なお、念のために付言すれば、上掲の例文 b) の分析は、本来は主語であるが、このデータの処理のための必要上、そこに位置づけてあるものである。

また、このような節構造を全くもたないものが多数あることは既に述べたことから明かであろう。

- d) Just one moment, please. (38)
- e) Aw, please, Mom. (141)

この後者の例文において特にそうであるが、依頼の内容は、場面の脈絡から完全に検索可能である。

4. 終結部

終結部は変化に乏しい。全く終結部を欠くばあいと、呼掛け (vocative) および儀礼的従接詞の <please> が生起するのみである。

- a) Tell him I'm not in. (76)
- b) So, could I come, too, *Yumi*? (251)
- c) Pass the salt, *please*. (149)

なお、全体として、終結部を欠く例文は 223 個 (75.9%)、<please> (中核部継続要素に従接詞として組み込まれている 3 例を除く) を含む例文は 45 個 (15.3%) であった。

B. 対人関係について

対人関係は、既に述べたように 4 つの類：1) 対等関係；2) 上下関係 - a)；3) 上下関係 - b)；4) 関係不明、に分類されている²⁴⁾。それぞれの類について総括すれば、以下の通りである。

1. 第1類(対等関係)：本稿の分析対象に関する限り、きわめて単純であると考えられる。ダイアログのテキストが高等学校用の教材であるという特色を反映して、対等の話し手——つまり、依頼者と被依頼者——は、共に学生・生徒である。全体として、対等関係者の間での依頼は、294例中の89例(30.3%)である。唯一の例外は、夫婦間のやり取りの中に見いだされた：

a) Why don't you join us, Ted? (205)

つまり、妻が夫のテッドの参加を要請しているものである。

2. 第2類(上下関係-a)：非対等の関係者のうち、何等かの意味で下位の話し手が上位の聞き手に依頼行動として発話している場合である。この類の発話は、全資料のなかで45例(15.3%)にとどまっている。その内容を考察すると、

1) 依頼者が学生・生徒である場合：32例

a) 被依頼者が身内の上位者(親など)の場合：8例：—

Can I have next week's allowance now? (89)

b) 被依頼者が友人の親・ホストファミリーの主人の場合：14例：—

Please ask him to call me back. (178)

c) 被依頼者が教師である場合：5例：—

May I ask you something? (3)

d) 被依頼者が医者・警官その他、未知の他人である場合：5例：—

Excuse me, where is Nishi Station? (170)

2) 依頼者が店員・受付掛・タクシー運転手などの場合：13例

a) 被依頼者が学生・生徒の場合：3例：—

Please fill out this form and sign here. (156)

b) 被依頼者が学生・生徒と限定できない場合：10例：—

Can you put your suitcase on the scales? (96)

3. 第3類(上下関係-b)：非対等の関係者のうち、何等かの意味で上位の話し手が下位の聞き手に依頼行動として発話している場合は、本稿の対象とする資料に関しては、全体で121例(41.2%)を見いだした。その内容を、同様にして分析すると、

1) 被依頼者が明らかに学生・生徒である場合：47例

a) 依頼者が身内の上位者(親など)の場合：11例：—

Johnny! Please turn down that music. (139)

b) 依頼者が友人の親・ホストファミリーの主人の場合：19例：—

I want you to do some chores just as Sam and his sister do. (195)

c) 依頼者が教師である場合：11例：—

Now I want a pair of you to act out the conversation. (5)

- d) 依頼者が医者・警官その他、未知の他人である場合：6例：—

Your passport, please. (136)

- 2) 被依頼者が店員・受付掛・タクシー運転手などの場合：74例

- a) 依頼者が明らかに学生・生徒の場合：16例：—

I'll take a cheeseburger with French fries and a chocolate shake, to go. (161)

- b) 依頼者が学生・生徒と限定できない場合：58例：—

Can I check in here for the World Airlines flight to New York? (94)

4. 第4類

第4類（関係不明）には対人関係を明らかにできない三つの理由があり得る。その一つは、互いに全く未知の他人であり、場面の脈絡に互いの上下関係を示すような役割関係が認められない場合である。例えば、デパートでの買物においては、如何に貧しい人でも顧客である限りにおいては、高給をとっている店員より上の立場にあると、社会的役割の上で認められる。第一のケースは、その種の不確定性をいう。

二つ目の理由は、互いに既知の関係にあるかもしれないが、その場において、互いの関係を確認するに到っていない場合をいう。例えば、電話を掛ける場合、相手として誰が出て来るかは、掛けてみなければ、分からない。その段階においては、対人関係は不確定である。そして、その不確定性が程なく解消する場合もあり、結局は、不確定のままに終わる場合もある。これは、社会的役割とは関係なく、むしろ、伝達の媒体の然からしめる結果である。

第三の理由は、初対面の人の間において起きる不確定性である。そして、互いに関係を深める場合には、不確定性が消えるのであるが、その必要がない他人どうしの関係を続ける場合には、対人関係の上下については、判断がつかない。初対面の段階においては、これと同じ状況が存在する。

第4類の用例は49例である。これについて、数量的処理をすることは、対人関係と受益の関係を結び付けるためには役立たないと考えられる。従って、これまでの三つの類と異なり、全体を一括して取り扱うことにする。ただ、例文を示すことにより、概ね、上掲の条件は了解されると思われる。

例：a) Excuse me, could you please help me find my station? (290)

b) Now tell me more about your town. (2)

c) May I speak to Tom, please? (177)

C. 受益の関係について

依頼表現を発話するという言語行為は、依頼の内容に依っては、話し手・聞き手の都合に影響

を与える。被依頼者は、喜んで依頼に応える場合もあるが、不都合を押して応じることもあり、拒絶する場合もあり得る。どの様な条件によって反応の違いが生じるのかは、かなり常識的な判断をつけることが可能である。例えば、依頼された内容が被依頼者にとって、きわめて好都合で、容易に応じることができるようならば、当然、肯定的な応諾が得られるであろう。つまり、被依頼者にとって利益が大きく、払うべき犠牲が小さいからである。本稿で考察した資料の中でも、

a) You just sit there and relax. (112)

のような、仰々しく「依頼」とも言えないような発話では、被依頼者は進んで申し出に応じるであろう。

しかし、若い留学生にホームステイしている家のホストマザーが次のように依頼したとすれば、被依頼者にとって、あまり嬉しくない仕事を押し付けられたと感じても不思議でない：

b) Kenji, can you take out the garbage now? (17)

依頼が容易に受け入れ難い場合がある。我々の資料の中で、

c) Can I have next week's allowance now? (89)

のような小遣いねだりの例がある。母親としては、娘に対する教育上、これを受け入れることは出来ないと考えてよからう。

このように、依頼が被依頼者にとってどの様に好都合に、あるいは逆に、不都合に受け止められるかは、依頼の内容と場面の脈絡によって、様々な段階があると考えてよい。しかしながら、不都合な依頼であっても、依頼の仕方によっては応諾され得るし、好都合な依頼でも、不快感を与えるような依頼の仕方をすれば断られる恐れ無しとしない。つまり、依頼については、依頼の内容の如何が当事者に評価されるはずである。しかし、同時に、依頼者は、応諾させるための工夫を凝らすだけの才覚があれば、たとえ、被依頼者にとってあまり好都合でなくても、応諾して貰えるということである。そして、そのような工夫、才覚の一部分として、言語的表現のあり方が含まれる。言葉の使い方如何で、諾否が左右される場合があるのである。

本稿においては、このような論点に深入りすることは出来ないが、少なくとも、依頼の内容が依頼者にとって利益をもたらすか、被依頼者に利益をもたらすかの区別だけは立てられると判断した。全ての例文について、これを検討し、

A. 《依頼者 (=話し手) < 被依頼者 (=聞き手)》

B. 《依頼者 (=話し手) > 被依頼者 (=聞き手)》

の判定を下した。それによれば、294例のなかで、A. タイプは52例、B. タイプは242例であった。更にこれを対人関係毎に分類すると：第1類 A：19/B：70；第2類 A：7/B：38；第3類 A：19/B：102；第4類 A：7/B：32であった。表2～9参照。

D. 対人関係および受益関係と依頼の言語表現

B節において考察した対人関係4類について、それぞれA/B両タイプの受益関係が上述の様

表 2

1-type A					
Nucleus(S+Operator)		Nucleus 1st(Subject)		Nucleus 2nd(Operator)	
0/0	13	0	13	0	13
0/don't		I	2	can?	1
I/0		you	3	could	
I will		we		could?	2
I would	1	there	1	do?	1
Do you?	1			don't	
Don't you?		other		don't?	
Will you?				is	1
Can I?	1			is?	
Can you?				may?	
May I?				will	
Would you?				will?	
Could I?	9			would	1
Could you?	2			would?	
other	1			other	
total	19	total	19	total	19

表 3

1-type B					
Nucleus(S+Operator)		Nucleus 1st(Subject)		Nucleus 2nd(Operator)	
0/0	19	0	22	0	22
0/don't	2	I	18	can?	11
I/0	2	you	28	could	1
I will		we		could?	11
I would	1	there	1	do?	2
Do you?	2			don't	2
Don't you?	2	other	1	don't?	2
Will you?	4			is	2
Can I?	4			is?	
Can you?	7			may?	5
May I?	5			will	
Would you?	5			will?	4
Could I?	5			would	1
Could you?	6			would?	5
other	6			other	2
total	70	total	70	total	70

に明らかになった。従って、この段階で、合計8つの類別それぞれに関して、対応する言語表現の特徴を調査することができる。表現上の中心として、節形式における中核部の構造に着目することにする。従って、基準は上述の「A. 表現形式 1. 中核部」において限定した類別を導入することとする。いずれについても、関連の付表を参照されたい。

1. 第1類タイプA (対等関係) : 19例 (表2参照)

対等の関係にある当事者 (participants) のうち、聞き手 (被依頼者) が受益者 (beneficiary) であるような場合である。中核部においては、以下においても同様であるが、《0/0》は無定形文、頭部省略、肯定の命令文である。通常節形式においては、《0/don't; I/0; I will; I would; do you; don't you; will you; can I; can you; may I; would you; could I; could you; その他》である。それらの生起の頻度を示すと：

0/0 : 13例。0/don't : ナシ。I/0 : ナシ。I will : ナシ。I would : 1例。do you? : 1例。don't you? : ナシ。will you? : ナシ。can I? : 1例。can you? : ナシ。may I? : ナシ。would you? : ナシ。could I? : ナシ。could you? : 2例。その他 : 1例。

〈Could you?〉 および 〈その他〉 の1例は：

- a) Could you stand over there? (115)
- b) There is someone I want you to meet. (292)

である。

2. 第1類タイプB (対等関係) : 70例 (表3参照)

対等な関係にある当事者のうち、話し手 (依頼者) が受益者 (beneficiary) であるような場合である。中核部各タイプの生起の頻度は次のようであった：

0/0 : 19例。0/don't : 2例。I/0 : 2例。I will : ナシ。I would : 1例。do you? : 2例。don't you? : 2例。will you? : 4例。can I? : 4例。can you? : 7例。may I? : 5例。would you? : 5例。could I? : 5例。could you? : 6例。その他 : 6例。

- c) I'd like to know why. (252)
- d) Could you look after Rover while I'm away? (221)
- e) Is there any chance I could go with you? (250)

これらの例文のうち、d)の'Rover'というのは、ペットで、留守中にその世話を頼もうという事情がある。e)の'Is there any chance'は、機能的には離接詞の'maybe'などに近いと解釈することもできる。

3. 第2類タイプA (上下関係-a) : 7例 (表4参照)

非対等な関係にある当事者のうち、聞き手 (被依頼者) が何等かの意味で上位の立場にあるが、

表 4

2-type A					
Nucleus(S+Operator)		Nucleus 1st(Subject)		Nucleus 2nd(Operator)	
0/0	4	0	5	0	5
0/don't	1	I	1	can?	
I/0		you	1	could	
I will		we		could?	
I would	1	three		do?	
Do you?				don't	1
Don't you?		other		don't?	
Will you?				is	
Can I?	4			is?	
Can you?				may?	
May I?	5			will	
Would you?				will?	
Could I?				would	1
Could you?				would?	
other	1			other	
total	7	total	7	total	7

表 5

2-type B					
Nucleus(S+Operator)		Nucleus 1st(Subject)		Nucleus 2nd(Operator)	
0/0	7	0	8	0	7
0/don't		I	11	can?	7
I/0		you	13	could	1
I will		we	2	could?	6
I would		three		do?	
Do you?				don't	
Don't you?		other	4	don't?	
Will you?	4			is	1
Can I?	4			is?	4
Can you?	1			may?	5
May I?	5			will	
Would you?	2			will?	4
Could I?	2			would	
Could you?	4			would?	2
other	9			other 1	
total	38	total	38	total	38

同時に受益者 (beneficiary) であるような場合である。中核部各タイプの生起の頻度は次のようであった：

0 / 0 : 4 例。0 / don't : 1 例。I / 0 : ナシ。I will : ナシ。I would : 1 例。do you? : ナシ。don't you? : ナシ。will you? : ナシ。can I? : ナシ。can you? : ナシ。may I? : ナシ。would you? : ナシ。could I? : ナシ。could you? : ナシ。その他 : 1 例。

f) Ototan, don't do it. (111)

4. 第2類タイプB (上下関係-a) : 38 例 (表5参照)

非対等な関係にある当事者のうち、聞き手 (被依頼者) が何等かの意味で上位の立場にあるが、話し手 (依頼者) が受益者 (beneficiary) であるような場合である。中核部各タイプの生起の頻度は次のようであった：

0 / 0 : 7 例。0 / don't : ナシ。I / 0 : ナシ。I will : ナシ。I would : ナシ。do you? : ナシ。don't you? : ナシ。will you? : 4 例。can I? : 4 例。can you? : 1 例。may I? : 5 例。would you? : 2 例。could I? : 2 例。could you? : 4 例。その他 : 9 例。

g) Tell him I'm not in. (76)

h) May I have your name and phone number, please? (106)

i) Is Peter there, please? (78)

g) は、母親に向かって、友人からの電話に留守だと断わってくれと頼んでいる発話である。i) は、電話で相手が在宅かどうか確かめているものである。

5. 第3類タイプA (上下関係-b) : 19 例 (表6参照)

非対等な関係にある当事者のうち、聞き手 (被依頼者) が何等かの意味で下位の立場にあるが、同時に受益者 (beneficiary) であるような場合である。中核部各タイプの生起の頻度は次のようであった：

0 / 0 : 12 例。0 / don't : 2 例。I / 0 : ナシ。I will : ナシ。I would : 1 例。do you? : ナシ。don't you? : ナシ。will you? : ナシ。can I? : 1 例。can you? : ナシ。may I? : ナシ。would you? : 1 例。could I? : ナシ。could you? : ナシ。その他 : 2 例。

j) Take some aspirin and stay in bed today. (13)

6. 第3類タイプB (上下関係-b) : 102 例 (表7参照)

非対等な関係にある当事者のうち、聞き手 (被依頼者) が何等かの意味で下位の立場にあるが、話し手 (依頼者) が受益者 (beneficiary) であるような場合である。中核部各タイプの生起の頻度は次のようであった：

0 / 0 : 26 例。0 / don't : 1 例。I / 0 : 6 例。I will : 16 例。I would : 8 例。do you? : 4

表 6

3-type A					
Nucleus(S+Operator)		Nucleus 1st(Subject)		Nucleus 2nd(Operator)	
0/0	12	0	14	0	12
0/don't	2	I	2	can?	2
I/0		you	1	could	
I will		we	1	could?	
I would	1	three		do?	
Do you?				don't	2
Don't you?		other	1	don't?	
Will you?				is	
Can I?	1			is?	
Can you?				may?	
May I?				will	
Would you?	1			will?	1
Could I?				would	1
Could you?				would?	1
other	2			other	
total	19	total	19	total	19

表 7

3-type B					
Nucleus(S+Operator)		Nucleus 1st(Subject)		Nucleus 2nd(Operator)	
0/0	26	0	29	0	35
0/don't	1	I	43	can?	10
I/0	6	you	21	could	
I will	16	we	3	could?	9
I would	8	three	1	do?	4
Do you?	4			don't	1
Don't you?		other	5	don't?	
Will you?				is	2
Can I?	6			is?	2
Can you?	4			may?	4
May I?	3			will	17
Would you?	4			will?	
Could I?	2			would	9
Could you?	7			would?	4
other	15			other	5
total	102	total	102	total	102

表 8

4-type A					
Nucleus(S+Operator)		Nucleus 1st(Subject)		Nucleus 2nd(Operator)	
0/0	6	0	6	0	6
0/don't		I		can?	
I/0		you	1	could	
I will		we		could?	
I would		three		do?	
Do you?				don't	
Don't you?	1	other		don't?	1
Will you?				is	
Can I?				is?	
Can you?				may?	
May I?				will	
Would you?				will?	
Could I?				would	
Could you?				would?	
other				other	
total	7	total	7	total	7

表 9

4-type B					
Nucleus(S+Operator)		Nucleus 1st(Subject)		Nucleus 2nd(Operator)	
0/0	3	0	4	0	4
0/don't	1	I	11	can?	5
I/0		you	13	could	
I will		we	1	could?	7
I would		three		do?	4
Do you?	2			don't	1
Don't you?	2	other	3	don't?	2
Will you?				is	1
Can I?	3			is?	2
Can you?	2			may?	6
May I?	6			will	
Would you?				will?	
Could I?				would	
Could you?	7			would?	
other	6			other	
total	32	total	32	total	32

例。don't you? : ナシ。will you? : ナシ。can I? : 6例。can you? : 4例。may I? : 3例。would you? : 4例。could I? : 2例。could you? : 7例。その他 : 15例。

k) First of all, I'd like to have corn soup. (127)

l) What's your name again? (98)

m) Yes, a small shake, please. (36)

n) Hiroshi, I want to talk to you for a moment. (194)

これらの用例が、依頼の言語機能をもつと判断するのは、言語形式と言語的意味によるのではなく、場面の脈絡をもとにしての解釈である。

7. 第4類タイプA (関係不明) : 7例 (表8参照)

対人的に上下関係を決定しがたい場合であるが、聞き手(被依頼者)が受益者(beneficiary)であるような場合である。中核部各タイプの生起の頻度は次のようであった :

0 / 0 : 6例。0 / don't : ナシ。I / 0 : ナシ。I will : ナシ。I would : ナシ。do you? : ナシ。don't you? : 1例。will you? : ナシ。can I? : ナシ。can you? : ナシ。may I? : ナシ。would you? : ナシ。could I? : ナシ。could you? : ナシ。その他 : ナシ。

o) Watch your step. (19)

8. 第4類タイプB (関係不明) : 32例 (表9参照)

対人的に上下関係を決定しがたい場合であるが、話し手(依頼者)が受益者(beneficiary)であるような場合である。中核部各タイプの生起の頻度は次のようであった :

0 / 0 : 3例。0 / don't : 1例。I / 0 : ナシ。I will : ナシ。I would : ナシ。do you? : 2例。don't you? : 2例。will you? : ナシ。can I? : 3例。can you? : 2例。may I? : 6例。would you? : ナシ。could I? : ナシ。could you? : 7例。その他 : 6例。

p) How do I get to the post office? (31)

q) Do you think you could take me up the stairs? (142)

E. 表現上の自然さに関する若干の考察

1. 全体を通じて、中核部が《0 / 0》が優勢である。すなわち、全体として90例であり、更に問い返しの表現

a) Convenient and what? (215)

の様な3例も加えると、31.6%に当たる。しかし、対人関係と受益の関係を加えてこれを考察すると、上掲の第4類タイプBに関しては、32例中3例で9.4%にとどまっている。それらの3例は :

b) Now, tell me more about your town. (2)

c) Please pass the soy sauce. (28)

d) Explain the situation. (281)

で、b) 知り合って間もない学生同士が、友人関係を結ぶか否か不確定の段階にある場合；c) 食卓での慣用的表現；d) 互いに親しくない隣人との間に交わされたものである。

しかし、これを除くと、他の全ての類においてタイプA — すなわち、聞き手（被依頼者）が受益者（beneficiary）であるような場合 — についてのみ考察すると、52例の中で中核部を欠く《0/0》タイプが、35例あり、67.3%にのぼる。これに対して、第4類を除いたタイプBのみについて同様の考察を行うと、結果として、210例中、52例で24.8%にとどまる。

このような67.3%と24.8%の差は、統計上の詳細な手続きを踏まなくとも、相当に有意な差であると考えて差し支えないであろう。という事は、OCA教科書のダイアログにおける依頼表現では、《0/0》の表現形式の語用論的な位置づけについて、適切な配慮が加えられていることを認めてもよいと考えられる。用例を掲げると：

e) Come in, Beth. (57) [1-type A]

f) Go ahead and start with anything you'd like. (26) [2-type A]

g) Please hold on a moment. (92) [3-type A]

h) Now, come right on in. (20) [4-type A]

2. 全体の294例についてみると、タイプAとタイプBの用例の差は大きい。タイプAの用例が52例であるのに対して、タイプBの用例は242例(82.3%)である。この差は明かに有意差である。一般にOCA教科書は、話し手（依頼者）が受益者（beneficiary）になるような場面の脈絡を構想していると云える。図1参照。

3. 対人関係の上で対等であるか上位であるような受益者の発話の中に、一般に丁寧²⁵⁾であると云われる形式が見いだされる。これについては、場面の脈絡と語用論的な配慮が明かに関連している場合は、適切さを認めなければならないが、そうでない場合には、その表現形式を用いた理由について疑問が起きる。例えば、

a) Ken, could I ask you a favor? (247) [1-type A]

b) Would you mind taking the tape over to Mike? (118) [1-type A]

c) Would you tell them about yourself? (246) [3-type A]

などである。

これらの発話がどの様な場面の脈絡で生じたのかを検討すると：

a) においては、アメリカ人の留学生が日本語で「どうも」という簡略化した謝礼の意味を聞き出すために、まず質問するのに先だって発話する依頼表現である。対人的には友人である。日本語に無知であると自己卑下をしたのであろうか。練習問題をもて、<could I ask a favor>

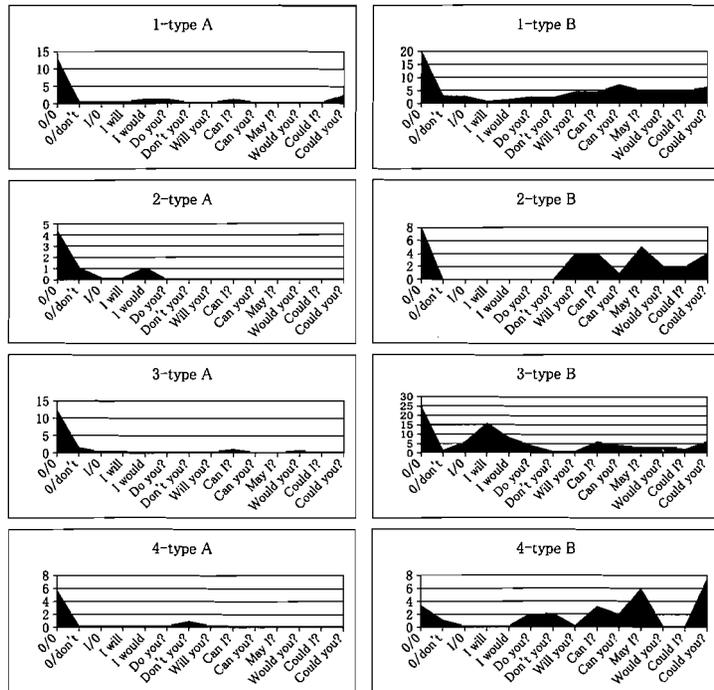


図 1

のような丁寧な表現の訓練で一貫している。

b) においては、病気で欠席したクラスメートのマイクのために、親切な手助けをしようとしている場面である。このレッスンは「友達つきあい」のユニットなので、これほどまでに丁寧に発話すると、被依頼者にとっての迷惑が大きいという感じが残る。

c) では、留学してきたアメリカ人女子生徒をクラス担任の先生がクラスに紹介する場面で、先生がアメリカ人の生徒に、自己紹介をしてもらうことを頼んでいるのである。教師と生徒の間でも、これほど丁寧だと距離感を覚えるのではないだろうか。練習問題は、この種の丁寧な表現で一貫している。

d) Could I listen to it? (65)

e) Would you give us a hand? (120)

においても、同様な批判が当てはまるであろう。

d) については、日本の公園でアメリカ人留学生がテープで音楽を聴きながら、友人の日本人女子生徒が来るのを待っているという場面設定である。女子生徒にとっては、その音楽になじみがないので、聴かせて欲しいと頼んでいる発話である。場所柄とか話題ばかりでなく、その他の口調がくだけていること、対人的にかなり親しみを持っているらしいことからすると、このように〈could I?〉という言葉使いをする必要が感じられない。ただ、この表現を、「許可を求める」表現の学習素材として選んでいることは、練習問題も、この表現に限られているところから知る

ことができる。編集者の意図としては、不可解とは言えないが、もう少し配慮をしてもらいたいところである。

e) は、当該教科書の「友達づきあい」のユニットに属していて、日本の高等学校で老人を対象としたパーティのような行事の準備に忙しい女子生徒が、たまたまやってきたアメリカ人留学生に手伝いを頼むという発話である。親しい友人同士でも、ていねいに依頼することを勧めるのが編集の方針であると思われる。他のレッスンでも、同じ様な過度な丁寧さを感じられる。

対象としたダイアログにおける中核部として〈could you?〉を例にとれば、タイプA対Bの比率が第1類において2:6である。同様に、第2類、第3類においては、それぞれ0:4と0:7である。第4類を別にすれば、全体の比率は、2:17となる。この対照はきわめて大きい有意差の反映である。(第4類を加えた定量的考察については、5. で付け加えられている。)

以上の定量的な考察によって、不自然に丁寧な表現形式が導入されているのではないかという虞れを生じるところである。

4. アメリカ映画の資料サイト (us.imdb.com/) との比較:

以下において、4点に関して、アメリカ映画の台詞に見いだされる表現とOCA教科書ダイアログの表現の一部を比較するが、それは「文体の適切さ」ないし自然度 (authenticity) についての考察を加えるためである。アメリカ映画の台詞と云えども、日常的に自然発生するくだけた話し言葉と全く同一視する訳にはいかないが、少なくとも、教室で外国語として学習するために編集された教材よりは、映画館や家庭のTVで楽しむ言語素材としては、自然さの程度が遥かに高いと考えて間違いはない。比較は、以下の諸点の通りである:

1) 〈FAVOR〉の使い方について:

OCA教科書ダイアログ294例の中に現れた〈favor〉は、〈ask you a favor〉/ 〈ask a favor of you〉/ 〈do me a favor〉の三つのパターンで、5例を見るだけである:

l) Could I ask a favor of you, John? (273)

m) By the way, would you do me a favor? (70)

のごとくである。既に言及したアメリカ映画の資料サイト (us.imdb.com/) に現在リストされている限りでの表現形式をみると、上記の形式の他に〈need a favor〉と〈ask you for a favor〉がある:

n-1) I need a favor, Nat.

n-2) I've gotta ask you for a favor. Let me go my way here.

その他の類例を挙げれば:

n-3) I'd like you to do me a favor and call a friend of mine.

n-4) Alice, would you do me one more little favor?

2) 〈HELP〉の使い方について:

OCA 教科書ダイアログにおける〈help〉の現れ方は、本動詞としての使い方 8 例に限られている。

o) Please help us with the songs. (68)

のようなものである。しかし us.imdb.com/ にリストされた用例には〈need your help〉が見いだされる：

o-1) I know, Primo, I need your help here, ok? Louis Prima is coming!

o-2) Attention! Attention! Ladies and gentlemen, attention! There is a herd of killer rabbits headed this way and we desperately need your help!

3) 〈WILL YOU?〉の使い方について：

OCA 教科書ダイアログでは、《0 / 0》の形式の中に肯定の命令文が含まれていて、その用例の総数は 80 例以上にのぼる。これらの命令文の形式には、終結部として、呼掛け (vocative) および従接詞〈please〉が生起するけれども、上に掲げた付加疑問形は一例も見いだすことができない。発話に生气を与えるこの形式が現れないのは不思議である。us.imdb.com/ にリストされた用例には、次のような付加疑問が見いだされる：

p-1) Hey, uh, water my horse, will you, son?

p-2) Leave the light on for me, will you, darlin'?

4) 〈TELL ME〉の使い方について：

OCA 教科書ダイアログにおいては、〈tell me〉が生起する頻度は 26 例である。その殆どの用法は「知らせる、教える、告げる」というような、告知行為を表す本来的な語彙的動詞である。

q) Tell me what you do in the United States. (253)

r) Tell me about your neighborhood, Kyoko. (269)

s) Would you tell me when the next train leaves? (287)

しかし、us.imdb.com/ にリストされた用例には、次のように、情報の提供を催促するような、談話の標識 (例えば、〈you see〉、〈you know〉、〈let's see〉などと同類の) として用いられている例がある。

t-1) Tell me, Mr. Jones, what do you look for in a girl?

t-2) Tell me, were you sent from the planet Pocket Protector, or did they clone you from Einstein's pubes?

t-3) Tell me, officer, do you have any idea how fast you were going?

OCA 教科書ダイアログからは、2 例を見るだけである。つまり、7.7%にとどまるのである。

t-a) Tell me, Mariko. How many people are there in your family? (182)

t-b) Tell me, Cathy. What would your mother have said? (239)

5. 場面の脈絡からの若干の考察

上記E. 3. において考察したような問題があるにも拘らず、場面の脈絡への配慮が加えられているダイアログを見いだすことができる事は、定性的な考察によって明かにできると思われる。

例えば、

a - 1) Could you please fill it out? (114)

a - 2) Could you stand over there? (115)

これらの例のうち a - 1) においては、対人関係上は生徒同士であるので第1類の対等関係に属しているが、タイ国で行われる国際青少年大会の事務局の地元高校生が、到着したばかりの日本人高校生に参加申込書の記入を求めている場面である。つまり、私的なくつろいだ場面ではなく、むしろ公的な場面である。この教科書では、解説のコラムにおいて、この種の例は「2人が初対面で、公の場にいることがうかがえます。」として、「ていねいな依頼」であることをことわっている。この種の語用論的な配慮は、きわめて適切であると思われる。

一方、a - 2) は、次のレッスンであるがストーリーとしては継続していて、バンコックの市内観光の途中で記念のスナップを撮ろうとする日本人生徒の発話である。相手がタイの女子生徒であることなどの違いがあり、打ち解けた対人関係にないことが暗示されていると思われる。これについても、当該教科書では欄外に「ていねいにたのむ」という注釈が加えられている。

次に、聞き手(被依頼者)が受益者であるような場合の表現と、逆に、話し手(依頼者)が受益者である場合とでは、表現形式の違いがある程度認められたのは自然であり、歓迎すべきところであるが、話し手(依頼者)が受益者である場合、相手が何等かの意味で上位の立場にあれば、なおさら、表現に注意がはられるべきところである。

この定性的考察では、既に述べたように、<could you?> が用いられるのは、タイプBの発話においてであった。上記E. 3. において示した頻度数に、第4類の場合を加えるならば、2:24という対照をしめす。もちろん、上述のように、タイプAの発話全体の割合が小さいことにその理由を見いだすことができるであろうけれども、話し手(依頼者)が受益者(beneficiary)であるような発話が、対等な対人関係においてさえも比較的高い割合を占めている事が注目される。

また、

b - 1) Could you show me around? (268)

b - 2) Could you look after Rover while I'm away? (221)

では、b - 1) は、日本の高等学校に留学してきたばかりのアメリカ人女子生徒が、日本人の女子クラスメートに学校の中を案内して欲しいと頼んでいる発話である。まだ、十分に親しさを感じていない場面であり、不自然さは認められない。

b - 2) において、場所はアメリカでも日本でも構わないのであるが、当事者は近所に住んでいる友人のメアリーとピーターである。二人のダイアログは <Can I ask you a favor, Peter?> で始まるような関係である。上掲のターン b - 2) は、一週間、家族旅行で留守をするので、ロー

ヴァーの面倒を見てくれないか、という依頼である。更に、毎朝、散歩に連れて行き、その上、夜は同じ部屋で寝てやって欲しいという注文までつくのである。これは、ローヴァーが飼犬だとしても、相当に厚かましい依頼であるが、ピーターが不承不承引き受けたところ、ローヴァーは猿であったと分かるのである。このような、一種滑稽なダイアログであり、しかも、被依頼者の蒙る負担の大きさを依頼者は予め承知しているという状況の中では、より丁寧に、下手にでて依頼する必要があるという心理が働いていることが読み取れるのである。従って、丁寧さの程度に問題があると云うことはできない。

これと関連して付け加えるならば、《0/0》のカテゴリーに属する表現の頻度は、Aタイプ(52例)：第1～4類において35例(67.3%)であり、Bタイプ(242例)：第1～4類において55例(22.7%)である。すなわち、被依頼者(聞き手)が受益者(beneficiary)であるような発話が多いのは、

- c) Please fill out this form and sign here. (156)
- d) Spell your name, please. (279)
- e) Just one moment, please. (38)

など、いずれも、話し手(依頼者)がサービスの提供者であるという場面の影響である。すなわち、c)は銀行で両替する場面で、銀行員が与える指示である。d)は歯科医に電話で診療日時の予約をする場面で、相手側に受付係の指示である。e)はファースト・フード店で店員が客に「ちょっとお待ち下さい。」と云っているところである。この種のビジネスライクなやり取りでは、対人関係において、個人的な要素は無視されて、簡潔で能率的な定形的なきまり文句がもちいらられるので、上述のような頻度の違いは、サービスの場面(service encounter)が取り上げられる割合によって異なると云える。そして、OCA教科書の編集において、より多くの考慮をこの種の場面に加えるならば、当然の事として、これらの依頼表現の定式を含めなければならないであろう。

しかしながら、

- f) Tell him I'm not in. (76)
- g) Aw, please Mom! (141)

においては、親子の間柄という親しい対人関係における、きわめて自然に打ち解けた発話である。f)は、上述のように、娘が避けたいと思っている相手からの電話を母親が受けてしまった場面で、母親に留守を装って欲しいと頼んでいる発話である。g)は娘が母親に飼犬をベッドに入れて一緒に寝てもよいか頼んだのに対して、母親が許さないと云ったのに反応して、「ねえ、ママ、お願い!」というようにねだっている表現である。

この種の場面は、c～e)とは全く逆の、打ち解けた関係を自然に反映する、むしろ稀な事例である。

III. 総括的考察

さて、以上のように我々は、OCA 教科書の各レッスンのダイアログ部における「依頼」表現について、談話分析・語用論的な視点から検討を加えてきた。すなわち、以上は、話し手と聞き手の対人関係の如何、依頼が当事者のどちらのために利益になるかの違いが、言語表現に及ぼす影響を中心に考察を行ったものである。

その様にみると、全体として、依頼者が話し手として、自分のためになることを頼む、要請する、命ずる、などという言語機能の表現が大多数を占めていることが明かになった。つまり、相手のためになる忠告、警告、示唆などは比較的少数の例にとどまった。

このことが、高等学校における教材として適当であるかどうかは以下に触れるが、依頼表現全体からみると、一方に偏っていると言えるかも知れない。すなわち、自己本位の依頼はするが、相手のためになるように手を尽くすという態度の表現が、社会生活の中では、もっと多く見いだされるのではないだろうか。

また、場面の脈絡との関連で考察すると、II. 3. および5. で考察したように、丁寧さに不適切な表現が見いだされる。適切な配慮を加えた OCA 教科書編集者には敬意を払うことは勿論であるが、同時に、更に一層の配慮の必要を強調したいものである。

話し手（依頼者）がサービスの提供者であるという、ビジネスライクなやり取りでは、対人関係において、個人的な要素は無視されて、簡潔で能率的な定形的なきまり文句がもちいられるサービスの場面 (service encounter) が取り上げられるのは、OCA 教科書の編集において当然の事であるが、その種の場面が、電話の掛け方などと共に、ジャンルの面からの分析をはっきりと意識することが望まれる。

以上は、表現の特徴を場面の脈絡と結び付けて説明ができるか否かについて、付言した所である。むしろ典型的な例を取り上げて、全体的な編集のあり方を展望してみたのであるが、一般的には、定形的な依頼表現の一部を、対人関係および受益関係を相当程度に配慮しながら、編纂されていることがみとめられる。しかしながら、上に言及した us.imbd.com/ の資料の示すような、異なる特徴があることは、当然ながら認識しなければならない。その意味で、定形的依頼表現の「一部」と云ったのである。

また、場面の脈絡との関係においては、OCA 教科書という教育上の制約も当然考えられるので、シチュエーションが限られ、登場人物のタイプも定形化し、話題・目的も一定の範囲を超えることができないのは止むを得ないかもしれない。従って、高い自然度 (authenticity) を発揮することは無理な注文なのであろう。とは言え、対人関係・受益関係のような比較的捉え易い場面の特徴を的確に反映するような表現形式を、過不足なく適切に用いているとは必ずしも言えない。

Ⅳ. 談話分析の方法と英語教育に関する展望

談話分析の本来の対象は、外国語教科書のような特殊なテキストにおける言葉遣いではなくて、自発的に使われる自然言語であると言えるであろう。我々は、それにも拘らず、日本で用いられる英語の教科書のダイアログという素材を対象として、依頼表現に限定して、これに分析を加えた。その結果、前節に述べたような特徴を捉えることができた。これが、談話分析的方法の適用の実例であり、その可能性を示すものであると考える。

もし英語教育の素材が自然度 (authenticity) に甚だしく欠けるならば、それは重大な問題である。外国語としての英語教育の教材においては、たとえ困難があろうとも、自然度の高いことが望ましいとは云うまでもないであろう。その様な視点からみると、多くの教科書には、相当程度のレベルで語用論的な配慮が加えられている事が認められるが、なお、この種の知見を、編纂の際に生かすことが望まれる。

科目としてのOCAは、2003年度4月からはオーラル・コミュニケーションBおよびオーラル・コミュニケーションCと融合し、「オーラル・コミュニケーションI/II」として再編される事になっている。本来、話し言葉 (spoken language) について、従来のように三分割して教えることが適切であったか、問われて当然なことであった。今後は、実践的コミュニケーション能力の養成が一層強調されることになる。また、「異文化理解」も必修となり、「生徒が情報や考えの受け手や送り手になるように具体的な言語の使用場面を設定し、多様なコミュニケーション活動を取り上げて指導すること」が期待されている。異文化接触を考慮するならばなおさら、自分の都合で依頼するばかりでなく、相手の依頼をどう受け止めるかにも、さらに、配慮が必要ではないだろうか。

教材については、「英語による実践的コミュニケーション能力を育成するため、……、実際の言語の使用場面や言語の働きに配慮したものをとりあげるものとする」と謳われている。自然度 (authenticity) の高い教材を用いて、実際の言語活動に近い状況で、英語によるコミュニケーションの実践的教育を行うことがねらいとなっている。自然度の高いテキストを教科書の何処に配置するか、それがダイアログ部であるべきか、練習問題部であるべきか、真摯な検討が望まれる。

本稿において試みた談話分析の方法は、依頼表現以外の諸々の言葉遣いが起きる多様なコミュニケーションの場面についても、これを適用することができる。これを精確に適用することによって、ダイアログその他のテキストの評価に間違いや偏向を来さないように務めることは、「学習指導要領」の改訂にとって重要な意義があり、また同時に、その方針を基礎として教科書・教材を編纂し選定するためにも、それが必要である。そのような意味に於て、本稿は、談話分析研究そのものの実践の例示であり得たと同時に、わが国の英語教育の改善のために聊かの貢献をなしたと信ずるものである。

(2000.1.20)

註

- *) 本稿は、大学英語教育学会 (JACET) の会則第12条による「研究会」として認められた、同学会北海道支部「談話分析研究会」の共同研究である。本研究は、大学英語教育学会「研究企画委員会」(同会則第11条)による物心両面にわたる支援のもとに行われた。ここに謝意を表明するものである。
- 1) 文部省 (1989 a), pp.110; 文部省 (1989 b), p.i.および pp.32~37 参照。
 - 2) 付録II参照。但し、計算ソフトの都合で2~20のナンバリングになっている。すなわち、1は欠番である。
 - 3) 練習問題や副教材を除いたばかりでなく、附属のオーディオ・テープならびにビデオ・テープについても、検討の対象としなかった。録音者などの演技力や内容解釈の影響を考えたからである。
 - 4) Porter, D. & Jon Roberts (1981) によれば、〈attention signal〉は、聞き手が注意を払って聞いていることを表示する音声的表現 (例えば ‘uhuh’) であるが、我々は、逆に、聞き手の注意を引き付けるために、特に用いる慣用的表現の事をいう。例えば、‘you see’, ‘you know’, ‘excuse me’ などである。従って、談話標識 (discourse marker) とあまり違いが無い。
 - 5) McCarthy, Michael & Ronald Carter (1994), および McCarthy, Michael (1991) 参照。
 - 6) 安藤昭一編 (1991), p.368.
 - 7) Searl, John R. (1969), p.66, et passim.
 - 8) 引用例文のあとに括弧でつけた数字は、付録IIにおけるナンバリングと一致する。
 - 9) Brown, Gillian & George Yule (1983), pp.36~46.
 - 10) Leech, Geoffrey N. (1983), pp.107ff. の 〈COST-BENEFIT SCALE〉 を参照。
 - 11) Bally, Ch. (1959³), p.36. 参照。ここでは、メッセージの内容である dictum に対する、話し手の態度を、表現されていると否とに拘らず modus と呼ぶ。芳賀綏 (1954) など参照。
 - 12) Jespersen, O. (1933), p.105.
 - 13) Jespersen, O. (1924), p.310. なお、ここで掲げた c) の用例については、この概念は当てはまらない。しかし、Onions, C.T. (1904) は、これを省略 (ellipsis) とみなして、‘(At the railway booking office) Oxford, second, single.’ を例文の中に掲げている。
 - 14) Greenbaum, Sidney & R. Quirk (1990), pp.19f.
 - 15) (0) とあるのは、〈ゼロ〉の意味である。
 - 16) この要素を、対人関係と結び付けて考える Halliday, M.A.K. (1994), pp.34, 75, 78ff. などを参照。
 - 17) Schiffrin, Deborah (1987) では、〈oh, well, and, but, or, so, because, now, then, Y’know, I mean〉を調査している。我々は、その一部を含みながら、すこし、緩やかに考えた。
 - 18) Greenbaum, Sidney & R. Quirk, op. cit. p.177.
 - 19) ソーティングは、中核部; 中核部先行要素; 中核部継続要素; 受益関係; 対人関係について行った。
 - 20) WWWでの映画資料サイトは、リストが次々と加えられるシステムであるので、使用頻度などの比較に利用するには適当でない。従って、比較が容易な例のみを引用して掲げる事にした。
 - 21) Greenbaum, Sidney & R. Quirk, op. cit. pp.176ff.
 - 22) Greenbaum, Sidney & R. Quirk, ibid. pp.184ff.
 - 23) Greenbaum, Sidney & R. Quirk, ibid. pp.181ff.
 - 24) 上述の I. 分析の方法を参照。
 - 25) 「丁寧さ」について、〈ポライトネス〉という概念を当てはめるには注意を必要とする。これについては、堀 素子 (1996) を参照。

参考文献

安藤昭一編 (1991) 『英語教育現代キーワード事典』増進堂

- Bally, Ch. (1959⁹), *Linguistique générale et linguistique française*. A. Francke S.A., Berne.
- Brown, Gillian & George Yule (1983), *Discourse Analysis*. Cambridge U.P.
- Greenbaum, Sidney & R. Quirk (1990), *A Student's Grammar of the English Language*. Longman.
- Halliday, M.A.K. (1994), *An Introduction to Functional Grammar*. Edward Arnold.
- 芳賀 綏 (1954), ‘陳述’とは何もの? 京都大学国文学研究会編『国語国文』第23巻 第4号
- 堀 素子 (1996), ‘英語圏社会における Politeness 概念——日本社会との対比——’『東海女子大学紀要』第15巻
- Jespersen, O. (1924), *The Philosophy of Grammar*. George Allen & Unwin.
- Jespersen, O. (1933), *Essentials of English Grammar*. George Allen & Unwin.
- Leech, Geoffrey N. (1983), *Principles of Pragmatics*. Longman.
- McCarthy, Michael & Ronald Carter (1994), *Language as Discourse*. Longman.
- McCarthy, Michael (1991), *Discourse Analysis for Language Teachers*. Longman.
- 文部省 (1989 a), 『高等学校学習指導要領』大蔵省印刷局
- 文部省 (1989 b), 『高等学校学習指導要領解説 外国語編 英語編』教育出版株式会社
- Onions, C.T. (1904), *An Advanced English Syntax*. Routledge & Kegan Paul. [Miller, B.D.H. (ed.) (1971), *Modern English Syntax*. New Edition of *An Advanced English Syntax*. Routledge & Kegan Paul.
- Porter, D. & Jon Roberts (1981) ‘Authentic Listening Activities’ in Micheal H. Long & Jack C. Richards (eds.), *Methodology in TESOL — A Book of Readings*. Newbury House. pp.177~187.
- Schiffrin, Deborah (1987), *Discourse Markers*. Cambridge U.P.
- Searl, John R. (1969), *Speech Acts*. Cambridge U.P. 1992.

付録 I. 平成9年度 (1997) 文部省検定済み OCA 教科書一覧

[ナンバー1は、資料処理の都合で欠番]

タイトル	出版社
2. ACTIVE ENGLISH	一橋出版株式会社
3. THE CROWN	株式会社 三省堂
4. ECHO	三友社出版株式会社
5. ENGLISH STREET	株式会社 第一学習社
6. EVERGREEN	株式会社 第一学習社
7. HELLO THERE!	東京書籍株式会社
8. INTERACT	株式会社 桐原書店
9. MAINSTREAM	株式会社 増進堂
10. ON AIR	株式会社 開拓社
11. PROGRESSIVE	株式会社 尚学図書
12. EXPRESSWAYS	開隆堂出版株式会社
13. SELECT	株式会社 三省堂
14. SPEAK TO THE WORLD	教育出版株式会社
15. TALK UP	株式会社 新興出版社啓林館
16. LIGHTHOUSE	研究社出版株式会社
17. THE NEW AGE DIALOG	研究社出版株式会社
18. BIRDLAND	株式会社 文英堂
19. NEW START	株式会社 旺文社
20. DEPARTURE	株式会社 大修館書店

付録II.

Text #	Lesson	Page	Line(s)	Forms/Sentences	PreNucleus	Nucleus	
1	2	1-1-1	4 8	Just call me Jennie.	just	0	0
2	2	1-1-2	7 14	Now, tell me more about your town.	now	0	0
3	2	1-2-1	8 1 2	May I ask you something?	0	I	may?
4	2	1-2-1	8 6	Could you write it on the board, please?	0	your	could?
5	2	1-2-2	11 1	Now, I want a pair of you to act out the conversation.	now	1	0
6	2	1-2-2	11 4	You two please stand up and come up to the front.	0	you two	0
7	2	1-2-2	11 7	Tomoko, you stand to the right of Yuji.	Tomoko	you	0
8	2	1-2-2	11 10	No, a little closer to each other.	no	0	0
9	2	1-2-2	11 13 15	You take the part of the customer, and you play the role of the clerk.	0	you	0
10	2	1-2-2	11 19	OK, go ahead!	OK	0	0
11	2	2-2-1	30 1	Get up, Toshiko!	0	0	0
12	2	2-2-1	30 10 11	Mom, will you please call in sick for me?	mom	you	will?
13	2	2-2-1	30 12	Take some aspirin and stay in bed today.	0	0	0
14	2	2-2-1	30 13	Can I drink some orange juice?	0	I	can?
15	2	2-2-1	30 15	Is it OK to watch TV on this bed?	0	it	is?
16	2	2-2-2	33 1	This is where we take off our shoes.	0	this	is
17	2	2-2-2	33 5 6	Kenji, can you take the garbage out now?	Kenji	you	can?
18	2	2-2-2	33 12 13	Please give the dog food here to Benjie.	please	0	0
19	2	2-3-1	34 3	watch your step.	0	0	0
20	2	2-3-1	34 3	Now come right on in.	now	0	0
21	2	2-3-1	34 5	Please put on these slippers.	please	0	0
22	2	2-3-1	34 7	Please come this way.	please	0	0
23	2	2-3-1	34 9 10	We take off our slippers before entering a tatami room like this.	0	we	0
24	2	2-3-1	34 10	Please go right ahead.	please	0	0
25	2	2-3-1	34 14	Why don't you have a seat here?	why	you	don't?
26	2	2-4-1	38 3	Go ahead and start with anything you'd like.	0	0	0
27	2	2-4-1	38 13 14	...feel free to leave it.	0	0	0
28	2	2-4-2	41 6	Please pass the soy sauce.	please	0	0
29	2	2-5-1	42 2	Hello, may I speak to Kumi Nakamura, please?	hello	I	may?
30	2	2-5-1	42 10	Would you please tell her I called?	0	you	would?
31	2	3-1-1	48 3	How do I get to the post office?	how	I	do?
32	2	3-1-2	51 3 4	Could you show me the way to the White House?	0	you	could?
33	2	3-3-1	56 13	Smile.	0	0	0
34	2	3-3-1	56 15	Please don't step on the moss.	please	0	don't
35	2	3-4-1	60 2	Yes, I'd like a cheeseburger and an order of French fries, please.	yes	I	would
36	2	3-4-1	60 7	Yes, a small shake, please.	yes	0	0
37	2	3-4-1	60 10	Vanilla, Please	0	0	0
38	2	3-4-1	60 17	Just one moment, please.	0	0	0
39	2	3-4-2	63 2 3	I'll have the sirloin steak with a tossed salad, please.	0	I	will
40	2	3-4-2	63 6	Medium, please.	0	0	0
41	2	3-4-2	63 9	Thousand Island, please.	0	0	0
42	2	3-4-2	63 12	A baked potato, please.	0	0	0
43	2	3-4-2	63 15	Just water is fine.	just	water	is
44	2	3-5-1	64 7	Can I see the third jeans from the left?	0	I	can?
45	2	3-5-1	64 13	Can I try them on?	0	I	can?
46	2	3-5-2	67 17	May I see that new album with the yellow cover on the second shelf?	0	I	may?
47	3	3	14 2	I beg your pardon?	0	I	0?
48	3	4	18 1	How can I get to the city library?	how	I	can?
49	3	6	28 3	Will your help ne with my Japanese?	0	you	will?
50	3	6	28 6 7	Can you listen to it with me now?	0	you	can?
51	3	6	28 8 10	Can I borrow the cassette and listen to it at home?	0	I	can?
52	3	11	54 2	I'd like to get a T-shirt.	0	I	would
53	3	11	54 10	I'll take this one.	0	I	will
54	3	12	58 7	Can I make a photocopy of an article?	0	I	can?
55	3	14	68 3	Can you help me decide?	0	you	can?
56	3	17	84 1	Teruo, can I ask you something?	Teruo	I	can?
57	3	19	94 1	Come in, Beth.	0	0	0
58	3	19	94 7	Come in and sit down, Beth.	0	0	0
59	4	1	10 4	Just call me Jim.	just	0	0
60	4	3	14 5	Excuse me, but please speak slowly.	me, but please	0	0
61	4	6	26 2 3	I'd like some flowers.	0	I	would
62	4	6	26 13	I'll take it.	0	I	will
63	4	7	28 1 2	Could you tell me the way to Shinano Soda Shop?	0	you	could?
64	4	8	31 23	Could you tell me how to make it?	0	you	could?

高等学校用「オーラル・コミュニケーションA」教科書における依頼表現の特徴

	PostNucleus	Finish	Addresser	Addressee	Relationship
call	me Jennie	0	student	< student	1
tell	me more about your town	0	student	> student	4
ask	you something	0	student	> teacher	2
write	it on the board	please	student	> teacher	2
want	a pair of you to act our the conversation	0	teacher	> student	3
stand	up and come up to the front	*please	teacher	> student	3
stand	to the right of Yuji	0	teacher	> student	3
0	a little closer to each other	0	teacher	> student	3
take	the part of the customer, and you play the role of the clerk	0	teacher	> student	3
go	ahead	0	teacher	> student	3
get	up	Toshiko	host mother	> student	3
call	in sick for me	*please	student	> host mother	2
take	some aspirin and stay in bed today	0	host mother	< student	3
drink	some orange juice	0	student	> host mother	2
0	OK to watch TV on this bed?	0	student	> host mother	2
0	where we take off our shoes	0	host	> guest	4
take	the garbage our now	0	host mother	> student	3
give	the dog food here to Benjie	0	host mother	> student	3
watch	your step	0	host	< guest	4
come	right on	0	host	< guest	4
put	on these slippers	0	host	< guest	4
come	this way	0	host	< guest	4
rake	off our slippers before entering a tatami room like this	0	host	> guest	4
go	right ahead	0	host	< guest	4
have	a seat here	0	host	< guest	4
go	ahead ane start with anything you'd like	0	host mother	< student	3
feel	free to leave it	0	host mother	< student	3
pass	the soy sauce	0	host	> guest	4
speak	to Kumi Nakamura	please	student	> friend's mother	2
tell	her I called	*please	student	> friend's mother	2
get	to the post office	0	stranger	> uncertain	4
show	me the way to the White House	0	student	> uncertain	4
smile	0	0	uncertain	< uncertain	4
step	on the moss	0	uncertain	> uncertain	4
like	a cheeseburger and an order of French fries	please	customer	> clerk	3
0	a small shake	please	customer	> clerk	3
0	vanilla	please	customer	> clerk	3
0	just one moment	please	clerk	> customer	2
have	the sirlain steak with a tossed salad	please	customer	> clerk	3
0	medium	please	customer	> clerk	3
0	thousand island	please	customer	> clerk	3
0	a baked potato	please	customer	> clerk	3
0	fine	0	customer	> clerk	3
see	the third jeans from the left	0	customer	> clerk	3
try	them on	0	customer	> clerk	3
see	that new album with the yellow cover on the second shelf	0	customer	> clerk	3
beg	your pardon	0	student	> student	1
get	to the city library	0	student	> student	1
help	me with my Japanese	0	student	> student	1
listen	to it with me now	0	student	> student	1
borrow	the cassette and listen to it at home	0	student	< student	1
like	to get a T-shirt.	0	customer	> clerk	3
take	this one	0	customer	> clerk	3
make	a photocopy of an article	0	student	> library clerk	2
help	me decide	0	student	> student	1
ask	you something	0	student	> student	1
come	in	Beth	student	< student	1
come	in and sit down	Beth	student	< student	1
call	me jim	0	student	< student	1
speak	slowly	0	student	> student	1
like	some flowers	0	customer	> clerk	3
take	it	0	customer	> clerk	3
tell	me the way to Shinano Soba Shop	0	student	> policeman	2
tell	me how make it	0	student's mother	> student	3

Text #	Lesson	Page	Line(s)	Forms/Sentences	PreNucleus	Nucleus	
65	4	11	46 5	Could I listen to it?	0	I	could?
66	4	12	49 1	May I speak to Pat, please?	0	I	may?
67	4	14	58 5	Can you help us?	0	you	can?
68	4	14	58 7	Please help us with the songs.	please	0	0
69	4	15	60 10	Show me how to do it	0	0	0
70	4	17	70 12	By the way, would you do me a favor?	by the way	you	would?
71	4	17	70 15	Would you help me?	0	you	would?
72	4	24	90 4	Do you have any ideas?	0	you	do?
73	5	5	75 3	How can I get to North High School?	how	I	can?
74	5	7-1	76 2	Could I speak to Mary, please?	0	I	could?
75	5	7	76 3	Yes, hold on, please.	yes	0	0
76	5	7	76 8	Tell him I'm not in.	0	0	0
77	5	7-2	76 12	Hello, is Mark there, please?	hello	Mark	is?
78	5	8	77 2	Is Peter there, please?	0	Peter	is?
79	5	9	77 2	Yes, I'm looking for a dark blue T-shirt.	Yes	I	am(pr)
80	5	8	77 6 7	Could I leave a message, Mrs. Hill?	0	I	could?
81	5	8	77 9	Could you please tell him that I'll be late for the meeting tomorrow?	0	you	could?
82	5	9	77 9	I'll take it.	0	I	will
83	5	10	78 3	I'll have spaghetti with meat sauce.	0	I	will
84	5	10	78 5	Do you have orange juice?	0	you	do?
85	5	10	78 8	I'll have the friend shrimp dinner.	0	I	will
86	5	10	78 14	And can you bring the drinks right away, please?	and	you	can?
87	6	3	12 1 2	Can you tell me how to get to the post office?	0	you	can?
88	6	4	18 1 2	Can I go see Gone with the Wind with Tina, Mom?	0	I	can?
89	6	4	18 7	Can I have next week's allowance now?	0	I	can?
90	6	6	26 8 9	Can we go, Mom?	0	we	can?
91	6	8	36 2	Is Akiko Nakamura there?	0	Nakamura	is?
92	6	8	36 5	Please hold on a moment	please	0	0
93	6	8	36 10	Could I leave a message?	0	I	could?
94	6	13	60 1 2	Can I check in here for the World Airways flight to New York?	0	I	can?
95	6	13	60 3	May I see your ticket and passport?	0	I	may?
96	6	13	60 5 6	Can you put your suitcase on the scales, please?	0	you	can?
97	7	1	18 5	Pardon?	0	0	0?
98	7	1	18 5	What's your name again?	what	your name	is?
99	7	2	22 1	Please come on in.	please	0	0
100	7	5	38 2	May I speak to Keiko?	0	I	may?
101	7	7	50 10	Can you call and ask him?	0	you	can?
102	7	8	54 2	I'm looking for a blue jacket.	0	I	am(pr)
103	7	8	54 4	Can I try it on?	0	I	can?
104	7	8	54 8	I'll take it	0	I	will
105	7	9	58 12 13	I'd like to reserve a table for two at seven o'clock this Saturday evening	0	I	would
106	7	9	58 14 16	May I have your name and phone number, please?	0	I	may?
107	7	12	74 1 2	Can you tell me the way to Takeshita Dori Street?	0	you	can?
108	8	1	14 9	Just call me Emi.	just	0	0
109	8	2	18 1	Bob, please meet Tetsuro, my...uh...my friend.	Bob, please	0	0
110	8	2	18 2	What's his name again?	what	his name	is?
111	8	3	22 1	Otosan, don't do it.	Otosan	0	don't
112	8	3	22 1	You just sit there and relax.	0	you	0
113	8	11	54 6	And how can I get to the hotel?	and how	I	can?
114	8	11	54 6	Could you please fill it out?	0	you	could?
115	8	12	58 14	Could you stand over there?	0	you	could?
116	8	13	62 1	Please take a look at this slide.	please	0	0
117	9	2	8 11 12	Midorim I'd like you to meet my new friend Jane.	Midori	I	would
118	9	7	22 10 11	Would you mind taking the tape over to Mike?	0	you	could?
119	9	9	26 7 8	Could you help us then?	0	you	could?
120	9	9	26 10 11	Would you give us a hand?	0	you	would?
121	9	15	42 5	Wait a sec.	0	0	0
122	9	15	42 8	Listen, Takashi.	0	0	0
123	9	17	50 1	Tell me more about Lee's proposal.	0	0	0
124	9	21	62 2 4	Could you tell me how to get to the subway station?	0	you	could?
125	10	3	13 1	Excuse me, where's the nearest telephone booth?	use me, where	phone booth	is?
126	10	3	13 4 5	Could you tell me the way to the post office?	0	you	could?
127	10	3	25 2	First of all, I'd like to have corn soup.	first of all	I	would
128	10	3	25 4	I'll have a steak.	0	I	will
129	10	3	25 6	Tomato salad, please.	0	0	0
130	10	3	25 8 9	I'll have some cheesecake and a cup of tea.	0	I	will

高等学校用「オーラル・コミュニケーションA」教科書における依頼表現の特徴

PostNucleus		Finish	Addresser	Addressee	Relationship
listen	to it	0	student	> student	1
speak	to Pat	please	student	> uncertain	4
help	us	0	student	> student	1
help	us with the songs	0	student	> student	1
show	me how to do it	0	student	> student	1
do	me s favor	0	student	> student	1
help	me	0	student	> student	1
have	any ideas	0	student	> student	1
get	to North High School	0	stranger	> stranger	4
speak	to Mary	please	student	> friend's mother	2
hold	on	please	friend's mother	< student	3
tell	him I'm not in	0	daughter	> mother	2
0	there	please	uncertain	> uncertain	4
0	there	please	student	> friend's mother	2
looking	for a dark blue T-shirt	0	customer	> clerk	3
leave	a message	Mrs.Hill	student	> friend's mother	2
tell	him that I'll be late for the meeting tomorrow	please	student	> friend's mother	2
take	it	0	customer	> clerk	3
have	spaghetti with meat sauce	0	customer	> waitress	3
have	orange juice	0	customer	> waitress	3
have	the friend shrimp dinner	0	customer	> waitress	3
bring	the drinks right away	please	customer	> waitress	3
tell	me how to get to the post office	0	strange	> strange	4
go	to see Gone With the Wind with Tina	mom	daughter	> mother	2
have	next week's allowance now	0	daughter	> mother	2
go	0	mom	daughter	> mother	2
0	there	0	mam	> clerk	3
hold	on a moment	0	clerk	< man	2
leave	a message	0	man	> clerk	3
check	in here for the World Airways flight to New York	0	passenger	> clerk	3
see	your ticket and passport	0	clerk	> passenter	2
put	your suitcase on the scales	please	clerk	> passenger	2
0	pardon	0	teacher	> student	3
0	again	0	teacher	> student	3
come	on in	0	student	< student	1
speak	to Keiko	0	student	> uncertain	4
call	and ask him	0	student	> student	1
looking	for a blue jacket	0	curtomer	> clerk	3
try	it on	0	curtomer	> clerk	3
take	it	0	curtomer	> clerk	3
like	to reserve a table for two at seven o'clock this Saturday even	0	customer	> receptionist	3
have	your name and phone number	please	receptionist	> custmer	2
tell	me the way to Takeshita Dori Street	0	stranger	> student	4
call	me Emi	0	student	< student	1
meet	Tetsuro, my...uh...my friend	0	student	< student	1
0	again	0	student	> student	1
do	it	0	student	< host father	2
sit	there and relax	*just	student	< host father	2
get	to the hotel	0	student	> student	1
fill	it out	please	student	< student	1
stand	over there	0	student	< student	1
take	a look at this side	0	student	< student	1
like	you to meet my new friend Jane	0	student	< student	1
mind	taking the tape over to Mike	0	student	> student	1
help	us, then	0	student	> student	1
give	us a hand	0	student	> student	1
wait	a second	0	student	> student	1
listen	0	Takashi	student	> student	1
tell	me more about Lee's proposal	0	student	> student	1
tell	me how to get to the subway station?	0	stranger	> student	3
0	0	0	student	> stranger	4
tell	me the way to the post office	0	student	> stranger	4
like	to have corn soup	0	student	> waitress	3
have	a steak	0	student	> waitress	3
0	tomato salad	please	student	> waitress	3
have	some cheesecake and a cup of tea	0	student	> waitress	3

Text #	Lesson	Page	Line(s)	Forms/Sentences	PreNucleus	Nucleus
131	10	8	35 1	May I speak to Aya?	0	I may?
132	10	12	51 3	Guess again.	0	0 0
133	10	16	69 1	Excuse me, may I see that T-shirt, please?	excuse me	1 may?
134	10	16	69 3	Do you have it in blue?	0	you do?
135	10	16	69 7	Do you have a larger size?	0	you do?
136	10	18	77 1	Your passport, please.	0	0 0
137	11	1-4	16 1	Johnny, could you turn down the music?	Johnny	you could?
138	11	1-4	16 3	Would you turn that music down?	0	you would?
139	11	1-4	16 5	Johnny! Please turn down that music.	chunny! Please	0 0
140	11	1-4	16 7 8	Turn down the music! Turn down the music!	0	0 0
141	11	1-6	20 3	Aw, please Mom!	please Mom!	0 0
142	11	2-4	46 1 2	Do you think you could take me up the stairs?	0	you do?
143	11	2-4	46 5 6	Could you take that lady up the stairs?	0	you could?
144	11	2-4	46 9	May be you can help us, too.	may be	you can
145	11	2-8	66 5 6	Tell me more about it.	0	0 0
146	12	4	8 2 3	Could I have two accops of the chocilate ice cream?	0	1 could?
147	12	17	38 7	Just call me Kate	just	0 0
148	12	18	40 3	Can you take me to Brighton?	0	you can?
149	12	19	42 5	Pass the salt, please.	0	0 pass
150	12	20	44 1 2	Ken, please introude yourself to everybody.	Ken, please	0 0
151	12	21	46 2	Just put it over there.	just	0 0
152	12	21	46 4	Well, my husband would appreciate it if you coulc mow the lawn in Sunday.	well	my husband would
153	12	22	48 1	A return to Victoria, please.	0	0 0
154	12	22	48 5	Oh, I'll take that, then.	oh	I will
155	12	23	50 1	Can you change some Japanese yen into U.S. dollers?	0	you can?
156	12	23	50 4 5	Please fill out this form and sign here.	please	0 0
157	12	23	50 8	Well, err---in 10's and 20's, please.	well, err---	0 0
158	12	24	52 2	Hello, may I speak to Nancy please?	hello	I may?
159	12	24	52 3	Hold on.	0	0 0
160	12	26	56 4	Come by around two.	0	0 0
161	12	28	60 2 3	I'll take a cheeseburger with French fries and a chocolate shake, to go	0	I will
162	12	28	60 5	Make it large.	0	0 0
163	12	28	60 8	Give me a medium.	0	0 0
164	12	29	62 2	Two for the "Stallone" movie.	0	0 0
165	12	30	64 1	Could you help me?	0	you could?
166	12	32	68 8	Please come in.	please	0 0
167	12	32	68 10	Help yourself.	0	0 0
168	12	33	70 2	We're looking for a B & B for tonight.	0	we are(pr)
169	12	33	70 8	Just a moment, please.	just	0 0
170	13	9-2	100 1	Excuse me, where is Nishi Station?	use me, where	Nishi Station is?
171	13	9-1	100 1	Excuse me, will you tell me the way to the Sunrise Hotel?	excuse me	you will?
172	13	10	100 3	How do I get to Higashi Honganji Temple?	how	I do?
173	13	9	100 5 6	Will you tell me the way to Nishi Station?	oh	you will?
174	13	12	101 2	I want a sweater	0	I 0
175	13	12	101 7	Blue, please	0	0 0
176	14	12	101 11	Show me another one, please	0	0 0
177	13	15	102 2	May I speak to Tom, please?	0	I may?
178	13	15	102 6	Please ask him to call me back.	please	0 0
179	13	15	102 7	May I have your telephone number?	0	I may?
180	14	1-1	10 2	Will each of you please introduce yourself?	0	each of you will?
181	14	1-3	14 4	Now, please tell our viewers your name.	now, please	0 0
182	14	1-3	14 6	Tell me, Mariko.	0	0 0
183	14	3-7	31 1 2	Could you tell me how to get to the post office?	0	you could?
184	14	3-8	34 2 3	I want a cheeseburger with ketchup and mustard.	0	I 0
185	14	3-8	34 5	I'll have a hamburger.	0	I will
186	14	3-8	34 7	Just lettuce and tomato, please.	just	0 0
187	14	3-8	34 10	Pardon me?	0	0 0?
188	14	3-8	34 15	I'll have a hamburger with the works.	0	I will
189	14	3-9	36 9	Hey, Mariko, look at these sweaters.	hey, Mariko	0 0
190	14	3-9	36 13 14	Can I get three of these sweaters?	0	I can?
191	14	3-9	36 14 15	I'd like a yellow one, a cream one, and a black one.	0	I would
192	14	3 adv	38 4	How can I catch a No.3 bus?	How	I can?
193	14	3 adv	38 13	Wait a minute.	0	0 0
194	14	4-11	44 1	Hiroshi, I want to talk to you for a moment.	Hiroshi	1 0
195	14	4-11	44 9 10	I want you to do some chores just as Sam and his sister do.	0	1 0
196	14	4-12	46 7	Hold on there, Hiroshi.	0	0 0

Text #	Lesson	Page	Line(s)	Forms/Sentences	PreNucleus	Nucleus	
197	14	4-12	46 13 14	Don't get me wrong.	0	0	don't
198	14	5-13	52 2 3	May I speak to Sue Lam, please?	0	1	may?
199	14	5-15	56 14	But don't be too late.	but	0	don't
200	15	1-3	16 1	May I use your eraser?	0	1	may?
201	15	1-5	20 2 3	Oh, Ms.Walker, will you give me a ride, please?	Oh, Ms.Walker	you	will?
202	15	1-8	26 2	Pardon?	0	0	0
203	15	1-8	26 5	Pardon?	0	0	0
204	15	2-1	40 6	Tell me more about the game.	0	0	0
205	15	2-2	42 7	Why don't you just us, Ted?	why	you	don't?
206	15	2-10	58 1	Can I speak to Emi, please?	0	1	can?
207	15	2-10	58 6	Wari a second.	0	0	0
208	15	2-11	60 1	when will you return my floppy disk?	when	you	will?
209	15	2-12	62 1	Could you tell me the way to the City Hotel?	0	you	could?
210	15	3-2	74 1 2	Look at all the empty can around the vending machines.	0	0	0
211	15	3-4	78 8	Oh, please wait until his class to find out.	oh, please	0	0
212	16	2	9 3	Akiko, do you want to go first?	Akiko	you	do?
213	16	4	17 3	I beg your pardon?	0	1	0
214	16	4	17 8	Could you speak a little more slowly?	0	you	could?
215	16	4	17 14	Convenient and what?	0	0	0?
216	16	9	37 2	May I speak to Becky?	0	1	may?
217	16	9	37 3	Hang on, please.	0	0	0
218	16	9	37 6	Could you ask her to call me this evening?	0	you	could?
219	16	9	37 24	So, meet me at Don's place at two.	so	0	0
220	16	11	45 1	Can I ask you a favor, Peter?	0	1	can?
221	16	11	45 3 4	Could you look after Rover while I'm away?	0	you	could?
222	16	11	45 7	Also, could you take him out for a walk every morning?	also	you	could?
223	16	11	45 11 12	And...well...I was wondering if you could do one last thing for him	was wondering if	you	could
224	16	11	45 15	Would you mind?	0	you	would?
225	16	11	45 17 18	Could you take him now?	0	you	could?
226	16	13	53 17	Don't get me wrong.	0	0	don't
227	16	14	57 8 9	Can you think of any?	0	you	can?
228	16	15	65 8	Sir, may we go back into the station?	sir	we	may?
229	16	15	65 12	Please Mister, can I just —	please Mister	1	can?
230	16	16	69 1	Excuse me, but do you know where the city library it?	excuse me, but	you	do?
231	16	18	77 2	Could you just give us another minute or two?	0	you	could?
232	16	18	77 5	I think I'll have a Super Burger.	I think	1	will
233	16	18	77 10	I'll have salad.	0	1	will
234	16	18	77 12	We'll have coffee.	0	we	will
235	16	18	77 20	Can we have the check?	0	we	can?
236	16	20	85 3	Can you be more specific?	0	you	can?
237	16	23	97 13 14	It's really help me if you could show me how to solve this.	really help me if	you	could
238	16	24	101 1 2	Why don't you turn it off for a while?	why	you	don't?
239	16	25	105 20	Tell me, Cathy.	0	0	0
240	16	26	109 15 16	Mind if I ask your motivation for learning Japanese?	mind if	1	0
241	16	27	113 5	Can we get on straight to the movie of the day, Kitty?	0	we	can?
242	17	3	11 6	There's one thing I'd like to ask of you.	0	there	is
243	17	3	11 8	Don't call me 'Mr. Hara.'	0	0	don't
244	17	4	15 1	Hurry up, Yoko!	0	0	0
245	17	5	19 1 2	I'd like you to meet Beth.	0	1	would
246	17	5	19 8	Would you tell them about yourself?	0	you	would?
247	17	7	27 1	Ken, could I ask you a favor?	Ken	1	could?
248	17	10	39 11	Could I have a look?	0	1	could?
249	17	13	53 3	Bath, will you help me cut up the vegetable?	Beth	you	will?
250	17	20	81 8	Is there any chance I could go along with you?	0	there	is?
251	17	20	81 11	So could I come, too, Yumi?	so	1	could?
252	17	22	91 2	I'd like to know why.	0	1	would
253	17	23	95 12	Tell me what you do in the United States.	tell me what	you	0
254	17	25	103 11	Would you help me, Mom?	0	you	would?
255	18	1	9 1	Hurry up, ken.	0	0	0
256	18	1	9 7	Don't forget to set it tonight	0	0	don't
257	18	1	9 8	Anyway, hurry up.	anyway	0	0
258	18	5	25 1	May I use your dictionaty?	0	1	may?
259	18	5	25 10	May I use your notebook, too?	0	1	may?
260	18	6	31 9	Emi, let me see your notebook, please.	Emi	0	0
261	18	12	55 5 6	Could you open it for me?	0	you	could?
262	18	12	55 9	Ken, could you do me a favor?	Ken	you	could?

高等学校用「オーラル・コミュニケーションA」教科書における依頼表現の特徴

	PostNucleus	Finish	Addresser	Addressee	Relationship	
get	me wrong	0	student	>	student	1
speak	to sue Lam	please	student	>	student	1
be	too late	0	host mother	>	student	3
use	your eraser	0	student	>	student	1
give	me a ride	please	student	>	teacher	2
0	pardon	0	student	>	student	1
0	pardon	0	student	>	student	1
tell	me more about the game	0	student	>	student	1
join	us	Ted	student	>	student	1
speak	to Emi	please	student	>	uncertain	4
wait	a second	0	student	<	student	1
return	my floppy disk	0	student	>	student	1
tell	me the way to the City Hall	0	student	>	student	4
look	at all the empty can around the vending machine	0	student	>	student	1
wait	until his class to find out	0	student	<	teacher	2
want	to go first	0	student	<	student	1
beg	your pardon	0	student	>	student	1
speak	a little more slowly	0	student	>	student	1
0	convenient and what	0	student	>	student	1
speak	to Becky	0	student	>	uncertain	4
hang	on	please	student's mother	<	student	3
ask	her to call me this evening	0	student	>	student's mother	2
meet	me at Don't place at two	0	student	>	student's mother	2
ask	you a favor	Peter	student	>	student	1
look	after Rover while I'm away	0	student	>	student	1
take	him out for a walk every morning	0	student	>	student	1
do	one last thing for him	0	student	>	student	1
mind	0	0	student	>	student	1
take	him now	0	student	>	student	1
get	me wrong	0	student	>	student	1
think	of any	0	student	>	student	1
go	back into the station	0	passenger	>	station attenda	3
0	just —	0	passenger	>	station attenda	3
know	where the city library is	0	stranger	>	stranger	4
give	us another minute or two	*just	customer	>	waiter	3
have	a Super Burger	0	customer	>	waiter	3
have	a salad	0	customer	>	waiter	3
have	coffee	0	customer	>	waiter	3
have	the check	0	customer	<	waiter	3
be	more specific	0	student	>	student	1
show	me how to solve this	0	student	>	host father	2
turn	it off for a while	0	husband	>	wife	1
tall	me	Kathy	student	>	student	1
ask	your motivation for learning Japanese	0	student	>	student	1
get	on straight to the movie of the day	Kitty	interviewer	>	guest	2
0	one thing I'd like to ask you	0	host father	>	student	3
call	me'Mr.Hara'	0	host father	<	student	3
hurry	up	Yoko	student	<	student	1
like	to meet Beth	0	student	<	student	2
tell	them about yourself	0	teacher	<	student	3
ask	you a favor	0	student	>	student	1
have	a look	0	student	>	student	1
help	me cut up the vegetables	0	student	>	student	1
0	any chance I could go with you	0	student	>	student	1
come	too	Yumi	student	>	student	1
like	to know why	0	student	>	student	1
do	in the United States	0	student	>	student	1
help	me	Mom	student	>	host mother	2
hurry	up	Ken	mother	<	son	3
forget	to set it tonight	0	mother	<	son	3
hurry	up	0	mother	<	son	3
use	your dictionary	0	student	>	student	1
use	your notebook, too	0	student	>	student	1
let	me see your notebook please		student	>	student	1
open	it for me	0	mother	>	son	3
do	me a favor	0	mother	>	son	3

Text #	Lesson	Page	Line(s)	Forms/Sentences	PreNucleus	Nucleus		
263	18	12	55	11	Would you mind getting a new notebook for me?	0	you	would?
264	18	15	69	3	Do you have the latest style?	0	you	do?
265	18	15	69	7	I prefer a brighter color.	0	I	0
266	19	5	14	7	Drop us a few lines when you find time to write.	0	0	0
267	19	6	20	1	Tell me about the Japanese school year, Keiko?	0	0	0
268	19	7	22	1	Could you show me around?	0	you	could?
269	19	12	36	1	Tell me about your neighborhood, Kyoko?	0	0	0
270	19	13	38	2	May I speak to Kyoko, please?	0	I	may?
271	19	14	40	8	Open your mouth.	0	0	0
272	19	16	48	1	Excuse me, could you tell me how to get to Kabukiza?	excuse me	you	could?
273	19	17	50	1	Could I ask a favor of you, John?	0	I	could?
274	19	17	50	3	Do you mind if I use your computer?	0	you	do?
275	19	17	50	5	6 Oh, by the way, can you help me with that report tomorrow?	oh, by the way	you	can?
276	19	18	52	2	I'd like to make an appointment, please.	0	I	would
277	19	18	52	4	5 I'd like to see the dentist as soon as possible.	0	I	would
278	19	18	52	8	What is your name, please?	what	0	is?
279	19	18	52	10	Spell your name, please.	0	0	0
280	19	20	56	4	Well, why don't you let him inside at night?	well, why	you	don't?
281	19	20	56	6	Explain the situation.	0	0	0
282	19	20	56	6	Why don't you speak to her?	why	you	don't?
283	19	21	62	1	I'd like a ticket to Boston, please.	0	I	would
284	19	21	62	11	I'll take a ticket on the express.	0	I	will
285	19	22	64	1	2 Where can I get information on how to get to the Boston Museum of Fine Arts?	where	I	can?
286	19	22	64	7	8 Would you tell me how I can get to the Boston Museum of Fire Arts?	0	you	would?
287	19	22	64	10	Would you tell me when the next train leaves?	0	you	would?
288	19	23	66	1	The Grand Hotel, please.	0	0	0
289	19	23	66	4	That's sixteen dollars and eighty cents.	0	that	is
290	19	25	70	1	Excuse me, could you please help me find my station?	excuse me	you	could?
291	19	29	82	5	6 Meanwhile, Keiko, will you teach me how to cook sukiyaki, my favorite Japanese dish	meanwhile, Keiko	you	will?
292	20	10	53	7	There's someone I want you to meet.	0	there	is
293	20	12	63	1	Adam, may I ask you something?	Adam	I	may?
294	20	12	63	6	Wait a second, Ted.	0	0	0

高等学校用「オーラル・コミュニケーションA」教科書における依頼表現の特徴

	PostNucleus	Finish	Addresser	Addressee	Relationship
mind	getting a new notebook for me	0	mother	> son	3
have	the latest style	0	customer	> clerk	3
prefer	a brighter color	0	customer	> clerk	3
drop	us a few lines when you find time to write	0	teacher	> student	3
tell	me about the Japanese school year	Keiko	student	> student	1
show	me around	0	student	> student	1
tell	me about your neighborhood	Kyoko	student	> student	1
speak	to Kyoko	please	student	> uncertain	4
open	your month	0	doctor	< patient	3
tell	me how to get to Kabukiza	0	student	> student	4
ask	a favor or you	John	student	> student	1
mind	if I use your computer	0	student	> student	1
help	me with that report tomorrow	0	student	> student	1
like	to make an appointment	please	patient	> receptionist	3
like	to see the dentist as soon as possible	0	patient	> receptionist	3
0	your name	please	receptionist	> patient	2
spell	your name	please	receptionist	> patient	2
let	him inside at night	0	student	> neighbor	4
explain	the situation	0	student	> neighbor	4
speak	to her	0	student	> neighbor	4
like	a ticket to Boston	please	passenger	> clerk	3
take	a ticket on the express	0	passenger	> clerk	3
get	information on how to get to the Boston Museum of Fine Arts	0	passenger	> stranger	4
tell	me how I can get to the Boston Museum of Fine Arts	0	student	> attendant	3
tell	me when the next train leaves	0	student	> attendant	3
0	the Grand Hotel	please	passenger	> taxi driver	3
0	sixteen dollars and eighty cents	0	taxi driver	> passenger	2
help	me find my station	please	stranger	> student	4
teach	me how to cook sukiyaki, my favorite Japanese dish	0	student	> student	1
0	someone I want you to meet	0	student	< student	1
ask	you something	0	student	> student	1
wait	a second	Ted	student	> student	1